akrobat **/** 杂技 **/ 「雑技団」の「杂技」と同じく、中国語で曲芸・雑技を表すため / 「杂(雑)」「技」はいずれも頻出字であり、今後「技」を他の語根（技術・技能など）にも転用しやすい**

1. monopol / 独占 / 中国語でも「独占」は通じ、日本語とも意味が近くわかりやすい / 「独」は後述の「独白」などで再利用可能、「占」も比較的画数が少なめ
2. monomani / 偏执狂 / 「偏執狂」(偏执+狂)は中国語で偏執的・妄想的な狂気を表現する標準的な組み合わせ / 3文字だが各字とも比較的使用頻度は高く、医療・心理用語などで再利用があり得る
3. solecism / 语病 / 語法的な誤りを指す「語病」は中国語で「文章・言葉遣いの不備」を表す / 「语」「病」はそれぞれ日常語彙としても汎用的に使われる
4. monolog / 独白 / 中国語・日本語ともに「モノローグ(独白)」を表す定訳的な熟語 / 「独」は上記(2)と共有、画数も比較的少ない「白」も広く使われる
5. monoton / 单调 / 中国語で「単調」を表す標準的な語 / 「单」「调」はどちらも日常頻出字であり、学習優先度も高い
6. unison / 齐奏 / 音楽用語として「ユニゾン(同時奏)」を表す / 「齐」は「整う」「そろう」の意で再利用しやすく、「奏」も音楽関連で汎用性あり
7. liber / 自由 / 「自由」は中国語・日本語共に意味が直感的に通じる / 「自」は後述でも頻出し、学習負荷を抑えられる
8. liberal / 自由主义 / 政治思想として「自由主義」を表す際の中国語標準表現 / 「自由」+「主义」（～主義の意）と分かりやすく、後述の自然主義でも「主义」を再利用
9. improviz / 即兴 / 中国語で「即興」を指す短い熟語 / 「即」「兴」はともに常用字であり、学習優先度が高い
10. spontane / 自发 / 「自発的」を表す中国語として一般的 / 「自」は既出、「发」も頻出字で再利用可能
11. kapric / 任性 / 中国語で「気まぐれ・わがまま」を表す際に使われる / 「任」は後述「任意」でも登場、「性」も人間性などで使用度が高い
12. arbitr / 任意 / 中国語において「任意」「随意」は「任意の」「恣意的な」を表すが、ここでは字数の少ない「任意」を採用 / 「任」は上記と重複使用
13. naturalism / 自然主义 / 「自然主義」の中国語定訳 / (9)「自由主义」と同じく「主义」を共有し、学習コストを抑えられる
14. natur / 自然 / 「自然」は中国語・日本語どちらでも非常に馴染みがある / 「自」は再利用、「然」はやや画数があるが汎用性は高い
15. instinkt / 本能 / 中国語で「本能」を表す際の最も一般的な単語 / 「本」「能」はともによく使われる字
16. aŭtograf / 亲笔 / 中国語で「自筆・直筆」を強調する際に使われやすい(「签名」は「署名」に近い) / 「親筆」は日本語の「自筆」に近いニュアンスを持ち、2文字で比較的簡潔
17. aŭtobiografi / 自传 / 中国語で「自伝」を表す標準的な熟語 / 「自」は再利用、「传」は「伝(つた)える」意で汎用性あり
18. individu / 个人 / 「個人」を表すうえで日常的に使われる / 「个」は単位量詞にも用いられる極めて頻出の字、「人」はさらに基本字
19. propr / 固有 / 「固有の」「独特の」を表す際に自然な中国語表現 / 「固」「有」はどちらも常用字
20. privat / 私人 / 個人の、私的な(プライベートな)意味で「私人」や「私人的」はよく使う / 2文字と簡潔で「私」は学習優先度が高い
21. aŭtonom / 自治 / 「自治の」「自主的な」というニュアンスに近く、中国語でもそのまま / 「自」は既出、「治」も基本字
22. mem / 自己 / 「自身」「自分」という意味で中国語の基本表現 / 「自」は既出、「己」も短く常用字
23. antipod / 对跖点 / 地理や幾何用語として「対蹠点」を指す正式な言い方 / 「跖」はややマイナー字だが、他に適切な略称が少ないため標準用語をそのまま採用
24. kontrapunkt / 对位 / 音楽用語「対位法」を表す際、中国語での一般的な呼称 / 「对」は再利用可、「位」も頻出字

paradoks / 悖论 /

* + 選定理由: 中国語で「パラドックス」を表す標準的な表現。日本語の「逆説」とほぼ同義で用いられる。
  + 学習コスト: 「悖」はやや使用頻度が低いが、「论」は「讨论(討論)」「理论(理論)」「结论(結論)」など多くの熟語に登場し汎用性が高い。

1. invers / 逆 /
   * 選定理由: 「逆」は「逆の／逆らう」等の意味で日中双方に馴染みが深く、「inverse, reverse」の意味を簡潔に示せる。
   * 学習コスト: 単字で分かりやすい。筆画数は9画だが、意味が直感的に把握しやすい点を優先。
2. mal / 反 /
   * 選定理由: 「反」は「反対・逆向き」の意味をもつ最頻出漢字の一つで、接頭辞「mal-」(正反対)に対応させるのに適切。
   * 学習コスト: 4画と画数が少なく、非常に汎用性が高い。
3. rezist / 抗 /
   * 選定理由: 「抵抗」「反抗」「抗議」などに使われる「抗」は「resist」に直結するイメージを持つ。
   * 学習コスト: 7画だが、多くの派生語(抗议、反抗、抵抗など)で学習転用できる。
4. konflikt / 冲突 /
   * 選定理由: 中国語で「衝突」を表す最も一般的な表現。日本語でも「衝突」で通じるため直感的。
   * 学習コスト: 2文字熟語だが「冲」「突」ともに使用頻度は高め(冲击、突出 など)で応用範囲が広い。
5. antipati / 反感 /
   * 選定理由: 「反感」は「アンチパシー」「反感・嫌悪」の意味を直接表すごく一般的な言い方。
   * 学習コスト: 「反」は既出、「感」は13画だが「感情」「感動」などで用いられ、使用頻度が高い。
6. opozici / 反对 /
   * 選定理由: 政治的な文脈で「政府に反対する」を表す場合、中国語では「反对」が基本。
   * 学習コスト: 「反」は既出、「对」は7画(簡体では5画＋2画要素)。非常に頻出語なので学びやすい。
7. opozici## / 反对 /
   * 選定理由: 上と同義で、名詞的に「反対(勢力)」を示す場合も中国語では同じ「反对」。
   * 学習コスト: (同上) 既出文字の組み合わせなので追加の負担は少ない。
8. protest / 抗议 /
   * 選定理由: 「抗议」は「抗議する」の中国語そのまま。日本語の「抗議」にも近い。
   * 学習コスト: 「抗」は既出、「议」は「論じる」「意見を述べる」などの意で汎用性が高い。
9. opon / 反对 /

* 選定理由: 「(に)反対する」という意味にもっとも直結した表現が「反对」なので、他の“反対”系語根と統一。
* 学習コスト: 既出文字「反」「对」の組み合わせで追加学習コストは低い。

1. ekstaz / 狂喜 /

* 選定理由: 「エクスタシー」「有頂天」「狂喜」の意味合いで、中国語でも「狂喜」は非常に分かりやすい。
* 学習コスト: 2文字熟語だが、「狂」(狂热=熱狂)「喜」(欢喜=歓喜) ともに他の語にも転用可能。

1. apostrof / 撇号 /

* 選定理由: 中国語でアポストロフィ「'」を指す際に一般的に「撇号」と呼ぶ。
* 学習コスト: 「撇」はやや専門的だが、句読点を学ぶ際にまとめて覚えられる。「号」は汎用性が高い。

1. abiturient / 毕业生 /

* 選定理由: 高校卒業者(アビトゥリエント)を指すなら「卒業生」に相当する「毕业生」が自然。
* 学習コスト: 3文字だが、中国語で「毕业(卒業)」+「生(人)」の組み合わせで分かりやすい。

1. pasiv / 被动 /

* 選定理由: 「受け身」「受動態」を表す場合、中国語では「被动」がもっとも直感的。
* 学習コスト: 「被」は受け身文法で頻出、「动」(動く) も頻用字のため理解しやすい。

1. diplom / 文凭 /

* 選定理由: 中国語で「証書」「卒業証書」「学位証」などをまとめて「文凭」というのが一般的。
* 学習コスト: 2文字熟語だが、「文」は4画と少なく、「凭」は8画で「依凭(頼る)」などに転用可能。

1. laks / 腹泻 /

* 選定理由: 「下痢」を指す最も一般的な表現。「腹」は腹部、「泻」は(液体を)流す意。
* 学習コスト: 2文字だが医療・日常両面で使用頻度は高め。各字も比較的よく使われる。

1. dispepsi / 消化不良 /

* 選定理由: 「消化不良」「胃腸のもたれ」は中国語で「消化不良」が定番。
* 学習コスト: 4文字熟語だが医学用語として標準的。いずれの字も常用字で、他の場面でも登場。

1. marasm / 衰弱 /

* 選定理由: 「衰弱」は体力や健康などが著しく弱っている状態を指す語。マラスムス(重度栄養失調)のイメージに近い。
* 学習コスト: 2文字とも日常漢字。日本語話者にも「衰退/衰弱」「弱点」など連想しやすい。

1. letargi / 昏睡 /

* 選定理由: 「昏睡」は「強い眠気」「意識がはっきりしない状態」を指す最も直接的な表現の一つ。
* 学習コスト: 医療関連でしばしば登場。「昏」は「昏迷(昏倒)」等、「睡」は「睡眠」などで流用可能。

1. fiask / 失败 /

* 選定理由: 「大失敗」「フィアスコ」は、中国語で「失败(失敗)」と表現するのが最も一般的。
* 学習コスト: 「失」は5画で既出の関連語(失去など)とも連動しやすく、「败」も常用字。

1. mis / 误 /

* 選定理由: 「mis-」(誤り)の接頭辞として、「错误(誤)」「误会(誤解)」などの語に広く使われる「误」を採用。
* 学習コスト: 9画ながら「讠(言偏)」＋「吴」の構成で覚えやすく、「错误」「失误」「笔误」など頻出。

1. erar / 误 /

* 選定理由: 「誤る」「間違う」の動詞的ニュアンスにも同じ「误」が使いやすいため、接頭辞misと同一字で統一。
* 学習コスト: 「mis」と同じ字を割り当てることで学習負担を削減(上付き文字等で区別を予定)。

1. deficit / 赤字 /

* 選定理由: 経済・商業的な「赤字」「負債超過」を最も直接的に表す語が「赤字」。
* 学習コスト: 「赤」は7画、「字」は6画だが、日本語圏でもそのまま「赤字」で通じる。

1. mank / 缺 /

* 選定理由: 「不足する」「欠けている」を示す際に、「缺」は「缺少」「缺乏」などで頻繁に使われるコア字。
* 学習コスト: 10画だが一字で「欠如」を示せる便利な常用字(「乏」「少」等とも組み合わせ可)。

1. perd / 失去 /

* 選定理由: 「(を)失う」の意味を明確に示す標準表現が「失去」。単に「失」だけでも「失う」を含意するが、動詞感を明確にするため2文字を推奨。
* 学習コスト: 「失」は既出、「去」は5画で比較的覚えやすく、日常でも非常に頻出。

### ****1) pesimism /** 悲观 **/** 理由**

* 提案: 「悲观」は「悲しむ(悲)＋観る(观)」の組み合わせで、「悲観」のニュアンスを日中双方が直感的に理解しやすい。
* 学習コスト: すでに日本語の「悲観」と近い漢字で、中国語でも「悲观」は一般的な単語。2文字だが、両文字とも使用頻度は高く、他の語根でも再利用しやすい。

### 2) pesimist / 悲观者 / 理由

* 提案: 「悲观」＋「者」で「悲観論者」の意味。標準の中国語表現「悲观主义者」はやや長いため、ここでは短縮形で提案。
* 学習コスト: 「悲」「观」は既出。「者」は非常に常用の1文字なので、追加コストも比較的低い。

### 3) sentimental / 感伤 / 理由

* 提案: 「感伤」は「感傷的」「センチメンタル」の意味に近く、日中ともに理解しやすい。
* 学習コスト: 「感(カン)」「伤(ショウ)」はいずれも比較的常用。日本語にも「感」「傷」は馴染みがある。

### 4) nostalgi / 乡愁 / 理由

* 提案: 「乡愁」は「郷愁」の簡体字で、ホームシックやノスタルジーを直接表す。
* 学習コスト: 「乡」は画数が少なく、「愁」は日本語の「愁」とほぼ同形だが若干画数は多い。しかし「郷愁」との対応が取りやすい。

### 5) splen / 忧郁 / 理由

* 提案: 「忧郁」は「憂鬱」の簡体字表現の一つ。抑うつ状態やメランコリー、ブルーな気分を指す場合に広く使われる。
* 学習コスト: 「忧(憂)」「郁(鬱)」はいずれも日本語の旧字体からの簡化形。やや画数はあるが、うつ関連の語に頻出し、後の再利用も見込める。

### 6) melankoli / 忧郁 / 理由

* 提案: 「splen」とほぼ同義の「憂鬱」「メランコリー」。よって同じ「忧郁」を再利用。
* 学習コスト: 「splen」と同一の割当。学習済みの漢字を使い回せる。

### 7) kriz / 危机 / 理由

* 提案: 「危机」は「危機」の簡体字であり、そのまま「クライシス（crisis）」を表す常用語。
* 学習コスト: 「危」「机」は比較的画数が少なく、日常頻度も高め。

### 8) panik / 恐慌 / 理由

* 提案: 「恐慌」は「パニック」「大恐慌」などの意味に相当。
* 学習コスト: 「恐」「慌」はともに日本語にもある漢字なので意味を推測しやすい。

### 9) embaras / 尴尬 / 理由

* 提案: 「尴尬(尷尬)」は「当惑」「気まずい」「気恥ずかしい」などのニュアンスを広く含む中国語。
* 学習コスト: 「尴」「尬」はやや画数が多い部首を含むが、中国語で「困る・恥ずかしい」を表す非常に一般的な単語。
  + もし画数をさらに減らすなら「狼狈(狼狽)」(10 + 7画)も検討可。ただしニュアンスが少し違う。

### 10) aflikt / 烦恼 / 理由

* 提案: 「烦恼(煩悩)」は「悩ませる／苦悩させる」ニュアンスに相当。中国語でも「烦恼」は極めて日常的に使われる。
* 学習コスト: 「烦」は簡体字(「煩」の略)。「恼」は「悩」の略で、いずれも日本語由来の漢字との対応を推測しやすい。

### 11) angor / 苦闷 / 理由

* 提案: 「苦闷」は「苦悶」「苦悩」「憂うつ」「気が塞ぐ」などの意味合いがある。焦燥感というより、内面的苦悩を表す。
* 学習コスト: 「苦」「闷(悶)」はいずれも常用の簡体字で、既出要素（苦・心の苦しみ等）と関連付けやすい。

### 12) malic / 恶意 / 理由

* 提案: 「恶意」は「悪意」に相当する簡体字。「恶毒」「恶念」などとも近いが、「恶意」が最も直接的。
* 学習コスト: 「恶(惡)」は既に「悪」に近く、「意」も日本語でおなじみの「意」。2文字で分かりやすい。

### 13) aĉ / 劣 / 理由

* 提案: 「aĉ」は「粗悪さ・値打ちのなさ」を示す接尾辞なので、単漢字なら「劣」(劣る・粗悪)が比較的近い。
* 学習コスト: 「劣」は6画と少なく、日本語の「劣る」と同じ字形。

### 14) fi / 坏 / 理由

* 提案: 「fi」は「卑劣な」「下劣な」「嫌悪すべき」といった意味で使われる。中国語の日常的表現「坏(悪い)」が最も単純。
* 学習コスト: 「坏」は7画で比較的少なく、日本語の「壊(こわ)す」にも部首が類似しており覚えやすい面がある。

### 15) negativ / 消极 / 理由

* 提案: 「消极」は「消極的」「ネガティブな態度・考え方」を指す中国語の一般表現。
* 学習コスト: 「消」は「消す」などで日本語にもあり、「极(極)」の簡体字も比較的よく見かけるため、直感で把握しやすい。

### 16) minus / 减 / 理由

* 提案: 数学上のマイナスを連想するなら「减(引く/マイナス)」が分かりやすい。「负」(負)も候補だが、こちらは「負う」の意味合いもあるため、「减」を優先。
* 学習コスト: 「减」は日本語の「減」の簡体字で、学習コストは低め。

### 17) anarki / 无政府 / 理由

* 提案: 「无政府」は「無政府状態」「アナーキー」の直訳。
* 学習コスト: 「无」は最少画数レベル、「政府」も比較的頻出の熟語。やや2文字増えるが、意味は非常に分かりやすい。

### 18) anakronism / 时代错误 / 理由

* 提案: 「時代錯誤」を直訳すると「时代错误」が自然。
* 学習コスト: 「时(時)」「代」は画数が少なく頻用字。「错(錯)」「误(誤)」も簡体字としては一般的だが、やや画数は多め。ただし意味が直感的で分かりやすい。

### 19) skism / 分裂 / 理由

* 提案: 「schism(分裂)」に相当し、集団・組織の「分裂」の意味が分かりやすい「分裂」を採用。
* 学習コスト: 「分」は4画、「裂」は12～15画(部首の数え方による)だが、いずれも比較的よく使われる。

### 20) ĥaos / 混乱 / 理由

* 提案: 「混乱」は日常的に「カオス」「無秩序」の意味で広く使われる。
* 学習コスト: 「混(こん)」「乱(らん)」は画数もそこそこだが、日本語・中国語ともに頻出語。

### 21) kaos / 混乱 / 理由

* 提案: 「ĥaos」と同義語扱いとして同じ「混乱」を再利用。
* 学習コスト: 既出のため追加なし。

### 22) kalendar / 日历 / 理由

* 提案: 「日历(カレンダー)」は最も簡潔。
* 学習コスト: 「日」は4画、「历(暦)」も4画でシンプル。日本語の「暦」に由来している。

### 23) almanak / 历书 / 理由

* 提案: 「almanac(暦/年鑑的な資料)」に相当する単語としては「历书」が比較的ポピュラー。
* 学習コスト: 「历」は既出、「书(書)」は中国語で非常に基本的な字。

### 24) kronik / 编年史 / 理由

* 提案: 「年代記」に相当する中国語として「编年史」が一般的。
* 学習コスト: 「编(編)」「年」「史」は比較的よく登場する。やや画数はあるが、意味把握が容易。

### 25) kronologi / 年代学 / 理由

* 提案: 「chronology(年代学)」に相当する中国語として、「年代学」が直訳に近い表現。
* 学習コスト: 「年」「代」はすでに登場済み。「学」は基礎漢字なので負担は低い。

horloĝ **/** 钟 **/ 「钟(鐘)」は「時計・鐘」の意で、中国語圏で「時鐘」としても用いられ馴染みがあるため / 1文字で「時計」のニュアンスを表すには比較的適切。画数はやや多め(9画)だが頻度は高く、日本語の「鐘」とも関連が推測しやすい**

* akurat / 准时 / 「准时」は「時間厳守」「正確な時刻」を意味し、中国語で「時間に正確」の定番表現 / 「准(10画)」「时(7画)」はいずれも高頻度。2文字熟語だが「時」に関わる他の語根とも部品が共有できる利点がある
* temp / 时 / 「时间」の略イメージとして最も基本的な簡体字 / 画数(7画)が比較的少なく、時間に関する様々な派生語(小时、及时など)にも使えるため汎用性が高い
* hor / 时 / 「hour, o’clock」に対応するが、中国語では「小时」という形をとる場合が多い。同じ「时」で暫定的に割り当て / 同じ「时」で重複使用することで学習コストを減らす(区別は後で上付き文字等で)
* zenit / 天顶 / 「天顶」は「天頂」の意味で日中双方ともに意味が取りやすい / 「天(4画)」「顶(8画)」はいずれも使用頻度が高めで、他の語根でも「天」を流用可能
* eklips / 蚀 / 本来は「日蚀(日食)」「月蚀(月食)」等で使う「蚀(蝕)」。簡体字で「腐蚀」(腐食)などにも登場 / 10画だが、「食」の旧字体(蝕)よりは簡略化。1文字で「食(蝕)＝Eclipse」の概念を表せる
* vesper / 晚 / 「晚」は「夜の早い時間帯、夕方」の意が強いが、中国語で「晚安(おやすみ)」など多用される / 11画だが汎用性が高く、「夜(夜間)」との対比がしやすい
* nokt / 夜 / 「夜」は文字通り「夜」を表す非常に基本的な字 / 8画であり、日本語でも「夜」と同形。視覚的・意味的な連想が容易
* maten / 早 / 「早」は「朝」「早い時刻」を表す簡体字 / 6画と画数が少なく、中国語でも日本語でも「朝」のイメージがわかりやすい
* krepusk / 昏 / 厳密には「暮」「昏」「曙」などを組み合わせないと「(朝夕の)薄明り」の両方をカバーしにくいが、ここでは夕暮れ寄りのニュアンスで「昏」を仮割当 / 8画で比較的少なめ。「昏暗(薄暗い)」「黄昏(夕暮れ)」などの派生で薄明を連想しやすい
* ĉiel / 天 / 「天」は「空・天・神・気象」など多義だが、「天空」的な意味を代表する1字 / 4画とシンプルで汎用性が高い
* ĉiel## / 空 / 原義「空(そら)」に近いので「空」を割り当て。実際の用例としては「天空」「空間」などにも通じる / 8画でやや多めだが、日本語圏でも「空(そら/くう)」のイメージが取りやすい。spacでも流用する可能性大
* spac / 空 / 「空間」を連想させる最有力字として「空」を再使用 / 同一漢字の使い回しで学習コストを削減(※「空」に上付き文字等を付して区別する予定)
* kosm / 宇宙 / 中国語・日本語ともに「宇宙」の熟語が最も通じやすい / それぞれ6画(宇)＋8画(宙)=14画。2文字だが「宇」「宙」単独では意味が通じにくいため熟語で提案
* univers / 宇宙 / 「kosm(コスモス)」とほぼ重なる意味のため「宇宙」で共通化 / 同じ熟語を使い回し、学習コストを抑える
* raket / 火箭 / 「ロケット」を表す標準的な中国語 / 「火(4画)」＋「箭(15画/簡体でも10画程度)」合計やや多いが、一単語としての知名度・頻度は高い
* stel / 星 / 「星」は最も直接的で分かりやすい単字 / 9画だが、日本語の「星」と同一。認識しやすい
* planed / 行星 / 「惑星」を表す標準的な中国語。「行星」でセット / 「行(6画)＋星(9画)」。すでに「星」を割り当て済みなので一部流用が可能
* komet / 彗星 / 「彗星」を表す標準的な2文字熟語 / 「彗(11画)＋星(9画)」。こちらも「星」を流用。
* efemer / 短暂 / 「短暂」は「短くて儚い」「一時的」という意味合い。“ephemeral”のニュアンスに近い / 2文字合計やや画数は多い(12＋8)が、現代中国語として自然。ほかの選択肢(刹那など)より一般的
* lavang / 雪崩 / 「雪崩」を最も直接的に示す中国語 / 「雪(11画)＋崩(11画)」と画数は多いが、中国語でもこれ以外に端的な1字表現はない
* frivol / 轻浮 / 「軽薄・軽浮」の意で非常に典型的な表現 / 「轻(9画)＋浮(10画)」。既出の部首「氵(水)」「车/云」等との関連で学習しやすい面も
* inkognit / 匿名 / 「お忍び」「匿名」的な意味合いを表す中国語として比較的一般的 / 「匿(10画)＋名(6画)」。「隐身」は「姿を隠す」の意が強く、「匿名」は「名前を隠す」で“incognito”のニュアンスにやや近い
* et / 小 / 指小辞・「小さい」の意で最もストレート / 3画で学習負担が非常に低い。再利用頻度も高い
* jun / 年轻 / 「若い」を示す標準的な中国語表現 / 「年(6画)＋轻(9画)=15画」だが、中国語で「若さ」を表す基本表現。部分的に「轻」はすでに別箇所でも登場している

knab

* 提案: 少年
* 理由: 「少年」は日中双方で「若い男性」「少年」を表すごく自然な語彙。1文字で「男」や「少」だけでは意味がやや曖昧になるので、2文字熟語「少年」が望ましい。
* 学習コスト: 「少」(4画)と「年」(6画)の2字で合計10画程度と比較的少なく、日本人にも中国人にも意味が直感的に伝わりやすい。今後「少」や「年」は他の割当でも再利用できる見込みがある。

1. cigan

* 提案: 吉普赛
* 理由: 中国語で「ジプシー」を表す最も一般的な音訳表記。日本語話者も「ジプシー」の当て字と推測しやすい。
* 学習コスト: 3文字だが、いずれも頻出漢字(吉/普/赛)であり、うち「普」「赛」は他の語根で「普遍」「比赛」等にも応用可能。

1. pigme

* 提案: 侏儒
* 理由: 中国語で「ピグミー」を含め「背丈が極端に低い人」を指す際によく使われる2文字熟語。「侏」(小柄)＋「儒」(本来は「儒者」の儒だが、ここでは「背の低い人」の意で慣用)。
* 学習コスト: 2文字ながら「侏」「儒」はやや画数が多い(侏9画/儒16画)。一文字で完全対応できる表記がないため、標準的な熟語を採用。

1. kanajl

* 提案: 恶棍
* 理由: 中国語で「悪党」「ごろつき」「ならず者」を指す最も代表的な2文字熟語。
* 学習コスト: 「恶」(8画)・「棍」(10画)の2字。どちらも中国語では比較的使用頻度が高く、学習コストはそこまで高くない。

1. kramp

* 提案: 夹钳
* 理由: 中国語で「かすがい」や「クランプ」「バイス」に近い道具を表す語として一般的。「C2」にもあるとおり「夹钳」は「挟む道具」全般を指せる。
* 学習コスト: 2文字だが「夹」「钳」はどちらも常用。画数も「夹」(6画)、「钳」(10画)でまずまず低め。

1. pokal

* 提案: 杯
* 理由: 中国語で「杯」はコップ・さかずき・ゴブレット等「飲み物を入れる器」を広く指す。「杯子」としても良いが、一文字「杯」でも用法は通じる。
* 学習コスト: 1文字(8画)で済むためシンプル。「杯」は「乾杯」の「杯」でもあり、日本人にも意味が推測しやすい。

1. pioĉ

* 提案: 镐
* 理由: 中国語で「つるはし」「十字镐」を指す代表的な単漢字。「十字镐」とすると3文字になるが、1文字の「镐」だけでも「つるはし」を示すのに用いられる。
* 学習コスト: 「镐」は部首「钅(金)」＋「高」で15画とやや多め。ただし単独1文字で意味が明確に通じる。

1. ĉarnir

* 提案: 合页
* 理由: 中国語で「ちょうつがい」を意味する一般的な呼称の一つ(ほかに「铰链」など)。Google翻訳(C2)の「合页」も妥当。
* 学習コスト: 「合」(6画)、「页」(6画)の合計12画で比較的シンプル。両字とも高頻度で、日中ともに認知しやすい。

1. stup

* 提案: 麻屑
* 理由: 「麻くず」=「麻(大麻・亜麻など)の繊維くず」を指すなら「麻屑(máxuē)」などが直観的。「拖」は「引っ張る」という意味で誤り。
* 学習コスト: 2文字。「麻」(11画)＋「屑」(10画)。やや画数は多めだが、「麻」は他の利用可能性も高い。

1. bek

* 提案: 鸟嘴
* 理由: 「くちばし」を中国語で表す標準的な2字熟語(「鳥の口」)。1文字「喙」もあるが、やや書き慣れない。
* 学習コスト: 「鸟」(5画) + 「嘴」(16画)で計21画とそこそこあるが、意味の分かりやすさを優先。

1. funel

* 提案: 漏斗
* 理由: 「じょうご」を示す中国語の定番表現。
* 学習コスト: 「漏」(14画)＋「斗」(4画)=18画。日中ともに「漏斗」は理科実験などで頻出し、覚えやすい。

1. lam

* 提案: 跛
* 理由: 「びっこ」「足が不自由で引きずる」状態を示す単漢字。「跛脚」(びっこ)とも言うが、1文字で「跛」でも指せる。
* 学習コスト: 10画。「足偏＋皮」の組み合わせで、意味推測もしやすい(足の問題と連想可能)。

1. balbut

* 提案: 口吃
* 理由: 「どもる」「口ごもる」動詞・名詞を中国語で最も簡潔に表す常用2字熟語。
* 学習コスト: 「口」(3画) + 「吃」(6画)=9画。頻出単語であり覚えやすい。

1. jug

* 提案: 轭
* 理由: 「くびき」を意味する代表的な単漢字。C2「轭」そのものが最適。
* 学習コスト: 6画と比較的少ない。

1. rukt

* 提案: 打嗝
* 理由: 中国語で「げっぷ」「おくび」を表す一般的な言い方。
* 学習コスト: 「打」(5画)＋「嗝」(13画)=18画。どちらも日常表現としてはよく出る部首構成。

1. ĝib

* 提案: 驼
* 理由: 「こぶ」「(背中が)盛り上がった状態」を連想できる字。もともと「駝(伝統字)」を簡化したもので、キャメル(ラクダ)・こぶ・背の曲がりを示唆する。
* 学習コスト: 9画。「驼峰」(camel hump)全体に近い意味を1文字で担わせる形。

1. tuber

* 提案: 瘤
* 理由: 「こぶ」「いぼ」「できもの」を広く指し得る単漢字。「塊茎」の意味までは厳密には含まないが、「こぶ状の突起」としては汎用的。
* 学習コスト: 14画とやや多めだが、単独1文字で「突起/こぶ」を示しやすい。

1. ĉifon

* 提案: 破布
* 理由: 「ぼろ切れ」「ボロ布」は中国語で「破布」「烂布」などが通例。一文字で完全に「ぼろ布」を示す漢字は存在しないため、2字熟語。
* 学習コスト: 「破」(10画) + 「布」(5画)=15画。いずれも基本的な漢字。

1. kojn

* 提案: 楔
* 理由: 「くさび」を意味する漢字。中国語では「楔子」とも言うが、1文字「楔」だけでも意味が通る。
* 学習コスト: 12画だが、1文字で済むので相対的には許容範囲。

1. dorn

* 提案: 刺
* 理由: 中国語で「トゲ」を表す際、単漢字「刺」が最も直接的で分かりやすい。
* 学習コスト: 8画。日常的にも使用頻度が高い。

1. veruk

* 提案: 疣
* 理由: 「いぼ」を表す単漢字として標準的。
* 学習コスト: 9画。単独で「 wart(いぼ)」を的確に示せる。

1. roman

* 提案: 长篇
* 理由: 「長編小説」をフルで書くと「长篇小说」(4文字)だが、ここでは「長編＝長い(ストーリー)作品」の意味を2字「长篇」で示す。中国語でも「长篇」だけで「長編作品(主に小説)」を指す用法がある。
* 学習コスト: 「长」(4画) + 「篇」(12画)=16画。後述の「小说」と組み合わせれば「长篇小说」としても使える。

1. novel

* 提案: 小说
* 理由: 中国語で「小説」を最も直接的に表す2文字熟語。英語の “novel” に相当。
* 学習コスト: 「小」(3画) + 「说」(9画)=12画。日本語圏でも「小説」の字から類推が容易。

1. tragikomedi

* 提案: 悲喜剧
* 理由: 中国語で「悲喜劇」を指す標準的な表記。「悲」と「喜」を合わせ「剧(劇)」で示す。
* 学習コスト: 「悲」(12画) + 「喜」(12画) + 「剧」(10画)=34画。3文字だが、演劇関連用語としては自然。

1. dram

* 提案: 戏剧
* 理由: 「戯曲」「演劇」「ドラマ」を中国語で一般的に表す語。「戏」(演じる) + 「剧」(劇) で広く「ドラマ/劇」を指す。
* 学習コスト: 「戏」(6画) + 「剧」(10画)=16画。すでに24)で「剧」を導入済みなので重複利用できる。

komedi **/** 喜剧 **/**

* + 選定理由: 現代中国語で「コメディ」を最も端的に表す語。日本語でも「喜劇」として馴染みがあるためイメージしやすい。
  + 学習コスト: 2文字だが、いずれも高頻度で日本人・中国人どちらにも意味が伝わりやすい。

1. histori / 史 /
   * 選定理由: 「歴史」を1文字で表す簡体字として「史」を採用。中国語でも「史书(史書)」「史学(史学)」などで用いられる。
   * 学習コスト: 1文字・画数も少なく、日本語話者にとっても「史＝歴史」のイメージはつかみやすい。
2. biografi / 传 /
   * 選定理由: 漢文の「列传(列伝)」などに見られるとおり、「伝記」を表すときの“传( zhuàn )”を流用。「传记(传記)」という2文字熟語もあるが、1文字でシンプルに対応。
   * 学習コスト: 1文字・6画で比較的覚えやすい。日本語では「伝」と書くので多少変形はあるが、意味の連想は容易。
3. alegori / 寓言 /
   * 選定理由: 「寓言」は「たとえ話」「アレゴリー」を表す標準的な現代中国語。日本語「寓話」と近く、意味をつかみやすい。
   * 学習コスト: 2文字だが「言」は頻出偏旁で他にも応用可能。「寓」はやや画数が多いが、後述の「fabl」などとも共通化可能。
4. anekdot / 轶事 /
   * 選定理由: 「逸話」(日本語)に相当する簡体字は「轶事」。中国語圏では「趣闻」「小故事」もあるが、正式度が高い「轶事」を採用。
   * 学習コスト: 「事」は後々ほかの語根(事件など)とも共有しやすいが、「轶」は簡体字(繁体字「逸」)なので若干注意が必要。
5. fabl / 寓言 /
   * 選定理由: 「寓言」は「寓話」「fable」を意味する代表的な訳語。実質的にalegoriと同義のため、同じ「寓言」を再利用。
   * 学習コスト: 既出の「寓」「言」をそのまま流用することで新たな学習負荷を抑制。
6. fabel / 童话 /
   * 選定理由: 「童話」を意味する中国語は「童话」(簡体字)。日本語の「童話」とほぼ同じ字面で、子供向け物語のイメージが伝わりやすい。
   * 学習コスト: 「话」は後述の「神话」などでも登場予定なので使い回し可能。「童」はやや画数は多いが、日本語圏にも馴染みがある。
7. legend / 传说 /
   * 選定理由: 「伝説」を意味する中国語は「传说」。既に「biografi(传)」で登場した“传”を再利用し、さらに「说」(言偏)は他の語にも応用しやすい。
   * 学習コスト: 「传」は再利用なので追加学習コストは「说」のみ。いずれも頻出漢字。
8. mit / 神话 /
   * 選定理由: 「神話」を表す最も一般的な単語が「神话」。日本語でも「神話」という表記があり、対応が分かりやすい。
   * 学習コスト: 「话」は既出。「神」は新しいが9画でそこまで複雑ではなく、よく使われる漢字。
9. sort / 命运 /

* 選定理由: 「運命」に対応する中国語として標準的な「命运」を採用。
* 学習コスト: 2文字だが頻出語。「命」(生命・寿命等)と「运」(運ぶ・運命)の組み合わせでイメージしやすい。

1. fatal / 宿命 /

* 選定理由: 日本語でも「宿命」という熟語があり、“避けられない運命”というニュアンスを表すのに適切。中国語でも「宿命」は通じる。
* 学習コスト: 「命」は既出で再利用。「宿」は新規だが中級レベルの常用漢字。

1. event / 事件 /

* 選定理由: 「事件」は「出来事・事柄」を表す基本的な語。C1にあった「事变」は政治的・歴史的大事件のニュアンスが強いので「事件」を優先。
* 学習コスト: 「事」は既出の「轶事」等で登場。「件」(6画)も比較的わかりやすい。

1. epizod / 插曲 /

* 選定理由: 「エピソード」＝物語・出来事の挿話的要素を表す語として、中国語で「插曲」が用いられることが多い。
* 学習コスト: 「插」はやや画数多め(10画)だが、「曲」は6画。「曲」は音楽・曲げるなど他でも応用可能。

1. eventual / 可能 /

* 選定理由: 厳密に「eventual＝最終的」「起こり得る(条件次第)」などの訳は状況により異なるが、中国語では「可能(ありうる)」が比較的近い。
* 学習コスト: 「可」「能」はどちらも常用・頻出漢字で汎用性が高い。

1. okaz / 发生 /

* 選定理由: 「起こる」「発生する」の標準中国語。「场合(場合)」は名詞寄りなので、「起こる」という動的な意味には「发生」が適切。
* 学習コスト: 「发」「生」は画数も少なく、ほかの熟語でも頻繁に登場する基本漢字。

1. akcident / 事故 /

* 選定理由: 「事故」が「アクシデント」に最も直接的。「偶发事件」などもあるが、簡潔かつ日本語圏にも馴染みがある「事故」を優先。
* 学習コスト: 「事」は既出。「故」は初出だが比較的常用漢字で、“理由・古い・死ぬ”など多義があり、学習価値は高い。

1. ŝanc / 机会 /

* 選定理由: 「機会」「チャンス」を表す際の中国語標準形。日本語「機会」と同系のイメージで覚えやすい。
* 学習コスト: 「机」(6画)も「会」(6画)も常用で、今後も「机会」「会议」など様々に展開可。

1. hazard / 偶然 /

* 選定理由: 「偶然」「たまたま」の意味を持つ単語。危険(ハザード)のニュアンスも「未知の偶発性」として含められる。
* 学習コスト: 「偶」(11画)はやや多いが、「然」(12画)は「当然」などにも使える常用部首入り漢字。

1. atavism / 返祖 /

* 選定理由: 「隔世遺伝」「先祖返り」を中国語で専門的に言うと「返祖现象」だが、2文字で簡潔に「返祖」とした。
* 学習コスト: 「返」(7画)は“帰る・戻る”などで再利用しやすく、「祖」(9画)も比較的よく出る(祖先など)。

1. genealogi / 家谱 /

* 選定理由: 「家谱」は家系図・系図学的な文脈で用いられる代表的な語。「族谱」もあるが「家谱」の方が日本語の「家系図」に近くイメージしやすい。
* 学習コスト: 「家」(10画)は非常に頻出。「谱」(13画)は音楽の「乐谱」などでも応用可能。

1. etnografi / 民族志 /

* 選定理由: 「民族誌学」を表す標準的な訳語。「民族志」は学術文献等で一般的に使われる。
* 学習コスト: 「民」(5画)「族」(7画)はいずれも今後多用される可能性大。「志」(7画)は「意志」「日志」などにも使える。

1. ras / 种族 /

* 選定理由: 「人種」「種族」に相当する中国語。より正確に「race」を表すには「种族」が一般的。
* 学習コスト: 「种」(9画)は「种子(種子)」「品种(品種)」など多用可能。「族」はすでに「民族志」などで使用。

1. gent / 民族 /

* 選定理由: 氏族・部族・民族などを広く指す意味として「民族」を割り当て。
* 学習コスト: 「民」「族」は既出で、追加学習なく利用できる。

1. etn / 民族 /

* 選定理由: 「etn＝ethnic」の語幹に対応。これも「民族」で十分カバーできるため再利用。
* 学習コスト: 上記(gent)と同じく新規負担なし。

1. human / 人类 /

* 選定理由: 「human（人間的な）」を表す際、中国語では「人类(人類)」が「人間・人類」全般のニュアンスに最も近い。
* 学習コスト: 「人」は2画で超基本字。「类」(9画)は「类型(タイプ)」「种类(種類)」などにも使えるため学習価値が高い。

ul

* + 提案: 者
  + 理由: エスペラントの「-ul-」は「〜な人」「〜という特徴を持つ人」を示す接尾辞で、中国語の「者」も「…する人」「…である人」のように人を指す語尾（接尾語）として機能しやすい。
  + 学習コスト等: 「者」は画数が8画と少なくはないものの、日中で非常に頻出し、「読書」や「記者」など多くの熟語に含まれ学習しやすい。今後も人を表す要素として再利用できる。

1. oni
   * 提案: 众
   * 理由: 「oni」は不定の主語（「人は〜」「みんな〜」）を表す語で、中国語の「众」は「大勢」「衆人」という意味があり「不特定多数」を連想させる。
   * 学習コスト等: 「众」は簡体字で画数4画（繁体字「眾」は12画）と比較的少なく、日本人にも「衆」のイメージで理解しやすい。
2. hom
   * 提案: 人
   * 理由: 「hom」は「人間」「人類」を意味するエスペラントの基本語根で、中国語の最も基本的な「人」を対応させる。
   * 学習コスト等: 漢字としては最も基本的かつ画数（2画）も極めて少ない。
3. person
   * 提案: 人
   * 理由: 「person」も「人」「個人」という意味であり、上記「hom」とほぼ同義。区別が必要な場合は上付き文字や振り仮名などで区別可能。
   * 学習コスト等: すでに採用している「人」を再利用し、学習負担を抑える。
4. pleb
   * 提案: 平民
   * 理由: 「pleb」は古代ローマなどでの「平民階級」を指し、中国語・日本語でも「平民」は「貴族以外の庶民」を指す表現として定着している。
   * 学習コスト等: 「平(5画)」と「民(5画)」はいずれも比較的シンプルで、後述の他の語根（公民・国民・人民など）で「民」を再利用可能。
5. civil
   * 提案: 公民
   * 理由: 「civil」は「市民の」「民間の」「文民の」等を表しうるが、中国語の「公民」は「国家に属する市民」を意味し、比較的広い文脈で「シビル」を連想させやすい。
   * 学習コスト等: 「公(4画)」「民(5画)」はいずれも基礎的な漢字で、既出の「民」と組み合わせている。
6. naci
   * 提案: 国民
   * 理由: 「naci」は「国民」「民族」の意で、中国語「国民」は「ある国家に属する人民」。日本語でも「国民」で対応しやすい。
   * 学習コスト等: 「国(8画)」はよく使う字で、すでに「民」は再利用。
7. popol
   * 提案: 人民
   * 理由: 「popol」は「人民」「大衆」を意味し、中国語でも「人民」は最も一般的な「the people」。
   * 学習コスト等: 「人(2画)」「民(5画)」はいずれも基礎漢字で再利用容易。
8. civilizaci
   * 提案: 文明
   * 理由: 「civilizaci」は「文明」「文明化」を表す語根で、中国語の「文明」は日中双方で非常に定着した表現。
   * 学習コスト等: 「文(4画)」「明(8画)」ともに常用字であり、追加負担は比較的小さい。
9. social

* 提案: 社会
* 理由: 「social」は「社会的な」を意味し、中国語でも「社会的」「社会」として対応可能。
* 学習コスト等: 「社(7画)」「会(6画)」はいずれも日中で非常に頻度が高い語。

1. soci

* 提案: 社会
* 理由: 「soci」は名詞としての「社会」を表す語根であり、上記の「social」と同じ「社会」で対応可能。
* 学習コスト等: 同じ「社会」を再利用し、区別が必要であれば上付き文字等で処理。

1. prolet

* 提案: 无产者
* 理由: 「prolet」は「プロレタリア（無産階級）」を指し、中国語では「无产者」または「无产阶级」がマルクス主義的に定着。今回は「者」で人を明確に表す形を採用。
* 学習コスト等: 「无(4画)」「产(6画)」「者(8画)」のうち、「者」は既出。やや新しい漢字は2字のみ。

1. proletari

* 提案: 无产者
* 理由: 「proletari」も「プロレタリア（無産者、無産階級）」の語根で、上記と実質同義。
* 学習コスト等: 上記と同じ漢字を流用することで学習負担を抑える。必要ならば区別の補助を追加。

1. nomad

* 提案: 游牧民
* 理由: 「nomad」は「遊牧民」「放浪民」を指し、中国語では「游牧民」「游牧民族」が一般的。ここでは簡潔な3文字「游牧民」とした。
* 学習コスト等: 多少画数は多いが、「民」は再利用で、「游」「牧」は日中でも比較的見かける字。

1. koloni

* 提案: 殖民地
* 理由: 「koloni」は「植民地(殖民地)」「〜を植民地化する」を意味。現代の簡体字では「殖民地」が標準表記。
* 学習コスト等: 3文字だが、「民」は既出。「殖」「地」は日常的にも比較的よく見かける。

1. indiĝen

* 提案: 土著
* 理由: 「indiĝen」は「土着の」「先住の」を意味し、中国語では「土著」「本地人」「原住民」などが候補。2文字で比較的簡潔な「土著」を採用。
* 学習コスト等: 「土(3画)」「著(11画)」。やや画数差はあるが、他でも見られる漢字で学習しやすい。

1. patriot

* 提案: 爱国者
* 理由: 「patriot」は「愛国者」。中国語の定訳が「爱国者」で、「愛国＋者」により「愛国の人」と示せる。
* 学習コスト等: 「者」は既出、「国」は既出。「爱(10画)」は新規だが「愛」という概念で学習価値は高い。

1. ŝovinism

* 提案: 沙文主义
* 理由: 「ŝovinism(ショーヴィニズム)」は中国語で「沙文主义」が定訳。「〜主义」は各種「主義」を表す接尾辞。
* 学習コスト等: 「沙(7画)」「文(4画)」「主(5画)」「义(3画)」はいずれも常用字。「主义」は他の主義系語彙で再利用できる。

1. ŝovinist

* 提案: 沙文主义者
* 理由: 「〜ist」は「〜主義者」を意味し、「沙文主义者」で「ショーヴィニスト」を指す。
* 学習コスト等: すでに「沙文主义」を使っており、末尾に「者」を付けるだけなので追加コストは低い。

1. nepotism

* 提案: 裙带关系
* 理由: 「nepotism(縁故主義)」は中国語で「裙带关系」が一般的表現。
* 学習コスト等: 4文字・新出字も多いが、他に簡潔な1〜2文字表現が無いため、この熟語を採用。

1. filantrop

* 提案: 慈善家
* 理由: 「filantrop」は「博愛主義者」「慈善家」の意。中国語では「慈善家」が通俗的・標準的。
* 学習コスト等: 「慈(13画)」「善(12画)」「家(10画)」はいずれも比較的画数多めだが、よく使われる語であり有用性は高い。

1. filantropi

* 提案: 慈善
* 理由: 「filantropi」は「博愛」「慈善事業」を表す語根。中国語では「慈善」だけでも「慈善活動」の意味を広く含む。
* 学習コスト等: 上記「filantrop」で出てきた「慈」「善」を再利用。

1. panteism

* 提案: 泛神论
* 理由: 「panteism(汎神論)」は中国語で「泛神论」が定訳。
* 学習コスト等: 「泛(7画)」「神(9画)」「论(6画)」。いずれも主張や思想関連の単語に使われることが多く、ほかの「〜论」との整合性も高い。

1. panteist

* 提案: 泛神论者
* 理由: 「panteist」は「汎神論者」。上記に「者」を加えることで「人」を表す。
* 学習コスト等: 「泛神论」をそのまま再利用し、末尾に「者」を付加。

1. ego/ist##

* 提案: 利己主义者
* 理由: 「egoist／エゴイスト」は「利己主義者」が最も中国語として定着。「利己主义(エゴイズム)」＋「者」。
* 学習コスト等: 「利(7画)」「己(3画)」「主(5画)」「义(3画)」「者(8画)」。他の「主义者」系表現とも対応するので整合性を保ちやすい。

optimism / 乐观 /

* + 選定理由：「乐观」は中国語における「楽天的／楽観」の意味で、日本語「楽観」とも近く理解しやすい。
  + 学習コスト：画数の少ない「乐(5画)」「观(6画)」の2文字で構成され、どちらも比較的頻用される。

1. optimist / 乐观者 /
   * 選定理由：「乐观(optimism)」＋「者(～の人)」という構造で、「楽観的な人」を簡潔に表現できる。
   * 学習コスト：すでに提案済みの「乐」「观」に、常用の接尾語「者」を足すだけなので学習負担は低い。
2. oligarki / 寡头政治 /
   * 選定理由：標準的な「寡头政治」は、oligarchy（寡頭制）を示す表現として一般的。
   * 学習コスト：「寡」「头」「政」「治」はやや画数が多いが、今後も政治形態を表す語根で「政」「治」を再利用する機会は多い。
3. oligarĥi / 寡头政治 /
   * 選定理由：上記(3)と同じく、oligarchyに対応する定訳。
   * 学習コスト：同上。すでに「寡」「头」「政」「治」を学習済みなら追加負担はない。
4. oligark / 寡头 /
   * 選定理由：oligarch（寡頭制支配者）を指す場合、中国語では「寡头」と略して言うことが多い。
   * 学習コスト：上記(3)(4)ですでに用いた「寡」「头」の組み合わせのため、新規要素は少ない。
5. oligarĥ / 寡头 /
   * 選定理由：語根の表記ゆれ（ark / arĥ）だが、実質同義なので「寡头」を流用。
   * 学習コスト：同上。
6. plutokrat / 财阀 /
   * 選定理由：plutocrat（財閥や富豪による支配層）を指す際、「财阀」は比較的わかりやすい表現。
   * 学習コスト：「财」「阀」はそれぞれ「財」「閥」を連想しやすく、他の経済関連語でも転用可能。
7. plutokrati / 财阀政治 /
   * 選定理由：plutocracy（財閥政治・金権政治）に最も近い熟語として「财阀政治」が用いられる。
   * 学習コスト：すでに使用した「财」「阀」「政」「治」を組み合わせるため、重複利用が可能。
8. demagog / 煽动者 /
   * 選定理由：demagogue（煽動政治家）に対応する一般的な表現。「煽动家」とも同義だが、ここでは「者」の方を採用。
   * 学習コスト：「煽」「动」はいずれも常用範囲。政治や世論操作など他の文脈でも使われやすい。
9. demokrat / 民主派 /

* 選定理由：democrat（民主主義者）を短く「民主派」と表現。必ずしも「党員」限定ではない。
* 学習コスト：「民」「主」「派」はいずれも画数が比較的少なく、社会・政治関連で頻用。

1. demokrati / 民主政治 /

* 選定理由：democracy（民主政治）の基本的な訳。
* 学習コスト：「民」「主」「政」「治」は今後も他の体制表現に再利用できる。

1. konservativ / 保守 /

* 選定理由：conservative（保守的・保守派）を指す一般的な表記が「保守」。
* 学習コスト：「保」「守」は比較的常用漢字で、画数も中程度。

1. protektorat / 保护国 /

* 選定理由：protectorate（保護国）の定訳。「保護国」の簡体字が「保护国」。
* 学習コスト：「保」「护」「国」はいずれも汎用性が高く、学習しやすい。

1. diktator / 独裁者 /

* 選定理由：dictator（独裁者）をそのまま示す標準的な表現。
* 学習コスト：「独」「裁」「者」は政治用語で頻出しやすい組み合わせ。

1. tiran / 暴君 /

* 選定理由：tyrant（暴君）の一般的な訳。
* 学習コスト：「暴」「君」は少し画数があるが、常用・頻出の範囲。

1. despot / 专制君主 /

* 選定理由：despot（専制君主・独裁君主）をより正確に表現。
* 学習コスト：「专」「制」「君」「主」はいずれも政治体制を示す語として再利用可能。

1. aŭtokrat / 专制者 /

* 選定理由：autocrat（専制的支配者）を「专制＋者」で端的に表す。
* 学習コスト：既出の「专」「制」「者」を組み合わせるため追加負担は少ない。

1. imperi / 帝国 /

* 選定理由：imperi（帝国）を表す最も直接的な簡体字。
* 学習コスト：「帝」「国」は画数は中程度だが、歴史・政治など多くの文脈で登場。

1. imperialism / 帝国主义 /

* 選定理由：imperialism（帝国主義）の標準訳。
* 学習コスト：「帝」「国」「主」「义」はいずれも常用範囲で、他の「～主义」と組み合わせやすい。

1. monarĥi / 君主政治 /

* 選定理由：monarchy（君主制）の直接的な対応。
* 学習コスト：「君」「主」「政」「治」は政治体制でたびたび使われ、再利用が多い。

1. monarki / 君主政治 /

* 選定理由：上記(20)と同義で、語根の綴り差異による重複。
* 学習コスト：同上。既出の漢字を流用できる。

1. aŭtokrati / 专制政治 /

* 選定理由：autocracy（専制政治）の標準的な訳。「专制」＋「政治」。
* 学習コスト：「专」「制」「政」「治」は既に他の体制表現にも使っており、重複利用が可能。

1. teokrati / 神权政治 /

* 選定理由：theocracy（神権政治）の一般的な表現。「神权」＋「政治」。
* 学習コスト：「神」「权」「政」「治」いずれも常用語で、意味が連想しやすい。

1. aristokrati / 贵族政治 /

* 選定理由：aristocracy（貴族政治）を示す最も一般的な訳。
* 学習コスト：「贵」「族」「政」「治」は政治・身分制度関連でよく使われる範囲。

1. ateism / 无神论 /

* 選定理由：atheism（無神論）の定訳。
* 学習コスト：「无」「神」「论」は画数も少なく、他の宗教関連表現でも応用可能。

ateist

* 提案: 无神论者
* 理由: 「無神論者」の中国語標準形は「无神论者」。意味が明確で広く通用する。
* 学習コスト: 「无」「神」「论」「者」は他の単語（例：理论、读者等）でも頻出するため、学習コストの再利用が期待できる。
* nihilism
* 提案: 虚无主义
* 理由: 「ニヒリズム」に相当する一般的な中国語は「虚无主义」。
* 学習コスト: 「虚」「无」「主」「义」はいずれも汎用性の高い漢字であり、他の「〜主义」系とも共通化しやすい。
* nihilist
* 提案: 虚无主义者
* 理由: 「ニヒリスト(虚無主義者)」は上記の「虚无主义」に「者」を付けた形。
* 学習コスト: 「者」は「工作者」「读者」「使用者」など広範に用いられるため追加負担は比較的低い。
* racional/ism##
* 提案: 理性主义
* 理由: 「合理主義」「理性主義」は中国語では一般的に「理性主义」とする場合が多い。
* 学習コスト: 「理」「性」「主」「义」はそれぞれ常用度が高く、「主义」は「主義」に相当する接尾辞として他にも流用が可能。
* racional/ist##
* 提案: 理性主义者
* 理由: 「合理主義者」「理性主義者」は上記「理性主义」＋「者」で対応。
* 学習コスト: 既出の「理」「性」「主」「义」「者」を組み合わせるのみなので、新規要素は増えない。
* pacifism
* 提案: 和平主义
* 理由: 「平和主義」は中国語で「和平主义」が最も一般的。
* 学習コスト: 「和」「平」「主」「义」は頻出度が高く、他の「〜主义」表現とも共通化しやすい。
* pacifist
* 提案: 和平主义者
* 理由: 「平和主義者」は「和平主义」に「者」を付加した標準的な形。
* 学習コスト: 既出の文字のみの組み合わせなので負担が増えにくい。
* meĥanism
* 提案: 机制
* 理由: 「メカニズム」に相当する現代中国語の汎用語は「机制(機制)」が簡潔で広く使われる。
* 学習コスト: 「机」「制」はともに使用頻度が高く、多分野で繰り返し登場する。
* mekanism
* 提案: 机制
* 理由: 上記(8)と同義のため同じ表現「机制」で統一。
* 学習コスト: 追加コストなし。
* kemi
* 提案: 化学
* 理由: 「化学」は標準的かつ簡潔。
* 学習コスト: 「化」「学」は初級学習レベルで必ず登場する常用漢字。
* ĥemi
* 提案: 化学
* 理由: 「ĥemi」は「kemi(化学)」の古形・変形に近い扱いなので同一の「化学」を適用。
* 学習コスト: 新規要素は増えず負担増なし。
* dinamik
* 提案: 动力学
* 理由: 「動力学」は「力学」よりさらに「動」に焦点を当てた物理領域名(＝dynamics)として広く認知される。
* 学習コスト: 「动」「力」「学」はいずれも頻用漢字で、他の理工系用語でも転用しやすい。
* meĥanik
* 提案: 力学
* 理由: 「メカニック(機械学/力学)」を指す場合、中国語では物理分野の「力学」として一般的。
* 学習コスト: 「力」「学」は先に出ている要素(12)と共通化できる。
* mekanik
* 提案: 力学
* 理由: 「meĥanik」と同義とみなし、同じ「力学」で統一。
* 学習コスト: 追加コストなし。
* faksimil
* 提案: 传真
* 理由: 現代中国語で「ファクシミリ」は「传真」が定着している。
* 学習コスト: 「传」「真」は比較的よく出現し、他の語彙(例: 传说、真正)にも応用可能。
* feminism
* 提案: 女权主义
* 理由: 「フェミニズム」に相当する標準的な表現。
* 学習コスト: 「女」「权」「主」「义」はいずれも主要漢字で、「〜主义」パターンとも整合する。
* feminist
* 提案: 女权主义者
* 理由: 「フェミニスト」は「女权主义」＋「者」で表現。
* 学習コスト: 既出要素のみで構成可能。
* maksim
* 提案: 格言
* 理由: 「金言」よりも現代中国語では「格言」が「maxim, aphorism」に近い定訳。
* 学習コスト: 「格」「言」はともに常用レベル。別の熟語(性格、言语等)にも登場する。
* etim
* 提案: 词源
* 理由: 「原義」や「語源」を指す場合、標準的な中国語表現は「词源」(＝語の由来)。
* 学習コスト: 「词」は語彙、「源」は「来源」「能源」などで再利用可。
* prism
* 提案: 棱镜
* 理由: 「プリズム」の一般的な中国語訳。「棱镜」が専門用語として定着。
* 学習コスト: 「棱」「镜」はやや画数が多いが他に適当な短縮形がなく、標準用語として理解されやすい。
* gotik
* 提案: 哥特
* 理由: 「ゴシック建築/様式」は中国語で「哥特式」だが、形容としては簡易に「哥特」と呼ぶことも多い。
* 学習コスト: 「哥」「特」はいずれも基礎漢字。さらに「哥特式」「特征」などで転用可能。
* grotesk
* 提案: 怪诞
* 理由: 「グロテスク」を表す際に「怪诞(的)」がもっとも近いニュアンス。
* 学習コスト: 「怪」「诞」は日常語でも時々見られる(例: 奇怪、诞生)。
* plastik
* 提案: 塑造
* 理由: 「造形術」「成形芸術」的な意味合いを簡潔に示すなら「塑造」(＝形を造る/塑像を作る)が分かりやすい。
  + ※美術分野で「塑造艺术」「造型艺术」と言及する場合も多い。
* 学習コスト: 「塑」「造」はそれぞれやや画数があるが、他の造語(塑料、制造)にも広く使われる。
* formul
* 提案: 公式
* 理由: 数式や化学式など「式」の定型表現として「公式」は一般的。
* 学習コスト: 「公」「式」は非常に高頻度で、他の場面(公式声明、公文書など)でも転用しやすい。
* form
* 提案: 形
* 理由: 「形状/形態」など、基本概念として最もシンプルな「形」を採用。
* 学習コスト: 単独でも「形」は多用され、「形式」「形状」「造形」などへの発展も容易。

figur **/** 形 **/**

* + 選定理由: 「形」は「形状・姿・図形」などを指し、日本語でも中国語でも「かたち」の意で通じやすい。
  + 学習コスト: 画数は7画程度と比較的少なく、今後も“形(かたち)”関連で汎用性が高い。

1. politik / 政 /
   * 選定理由: 「政治」の略字的用法として「政」を採用。中国語圏でも「政府」「政治」などの語幹として広く使われる。
   * 学習コスト: 既に「政治(zhèngzhì)」の一文字目として認知度が高い。後続の「财政(financ)」などでも再利用可能。
2. taktik / 战术 /
   * 選定理由: 中国語で「戦術」は「战术」。戦い(战)＋技術(术)の組合せで「戦術＝タクティクス」のニュアンスが明確。
   * 学習コスト: 2文字だが「战」は軍事関係で再利用可能、「术」は「技術」「芸術」など多方面で汎用性が高い。
3. strategi / 战略 /
   * 選定理由: 「戦略＝战略」は中国語でも定着している標準表現。「戦略(ストラテジー)」の意味が直感的にわかる。
   * 学習コスト: 「战」は上記(taktik)と共通、「略」はやや画数が多いが「省略」「策略」などにも用いられる。
4. statistik / 统计 /
   * 選定理由: 「統計」は簡体字で「统计」。中国語でも非常に一般的で、日本語話者にとっても「統計」の意味が連想しやすい。
   * 学習コスト: 「统」「计」は日常頻度も高く、学習コストは比較的抑えられる。
5. financ / 财政 /
   * 選定理由: 中国語で「财政」は「財政・財務」に相当。日本語の「財政」と近いイメージでわかりやすい。
   * 学習コスト: 既出の「政」(politik)を再利用。「财」は新規だが「财富(富)」「财物(財物)」など派生利用が広い。
6. ekonomi / 经济 /
   * 選定理由: 中国語で「経済」は「经济」。非常に標準的かつ広く通用する。
   * 学習コスト: 「经」は他の用法(「经书」「经理」など)も多く汎用性が高い。
7. scienc / 科学 /
   * 選定理由: 「科学」は日中ともに同じ表記・ほぼ同じ発音(かがく/kēxué)で認知度が高い。
   * 学習コスト: 「科」「学」はいずれも頻出漢字。「学」は後続でも多用可能。
8. erudici / 博学 /
   * 選定理由: 「博学」は「博(広い)＋学(学問)」で「博識」「博学多才」などの熟語にも使われる。
   * 学習コスト: 「学」は既出。「博」はやや画数多めだが「博士」などでも用いられる。
9. skolastik / 经院 /

* 選定理由: スコラ哲学は中国語で「经院哲学」と訳すのが一般的。最小化のため「经院」を用いて「経院(スコラ的)」を示す。
* 学習コスト: 「经」は「经济」等ですでに登場済。「院」は「学院」「医院」などにも使われる汎用要素。

1. filozof / 哲 /

* 選定理由: 本来は「哲学家」と書くが、簡略化し「哲」単体で「哲人・哲学者」をイメージ。
* 学習コスト: 「哲」は「哲学(filozofi)」とも関連し、セットで覚えやすい。

1. filozofi / 哲学 /

* 選定理由: 標準的な「哲学」の簡体字表記も同じく「哲学」。
* 学習コスト: 「学」は再利用。11番(filozof)とのペアで覚えられる。

1. pedant / 学究 /

* 選定理由: 「学究」は「学問を究める人」というやや古風な表現で、 pedant(衒学的な人)のニュアンスに近い。
* 学習コスト: 「学」は既出。「究」は新規だが「研究」など広い分野で使われる。

1. metafizik / 形而上学 /

* 選定理由: 形而上学(メタフィジック)の定訳。「形而上」で「形を超えた領域」、+「学」で学問。
* 学習コスト: 「形」は(figur)で既出、「学」も既出。新規は「而」「上」のみで、意味が把握しやすい。

1. katekiz / 教理 /

* 選定理由: カテキズム＝「教義を教える」手法のイメージで、比較的短くまとめた。「要理问答」が正式だが長いため簡略形。
* 学習コスト: 「教」は汎用度が高い(教育・教会など)。「理」も「理论」などで再利用しやすい。

1. kateĥiz / 教理 /

* 選定理由: 「katekiz」と同義根。発音上の違い(k/ĥ)だけで意味はほぼ同じなので同一割当で統一。
* 学習コスト: 上記と同一。追加負担なし。

1. stoik / 坚忍 /

* 選定理由: ストア学派の「禁欲的・堅固な精神」を表す形容として中国語では「坚忍」(じっと耐える)が比較的近い。
* 学習コスト: 「坚」(固い)、「忍」(耐える)はいずれも常用字。2文字でコンパクトに表現。

1. dogm / 教条 /

* 選定理由: 「教条」は「ドグマ(dogma)」に直対応する漢語。宗教上の教義や独断的主張を示す。
* 学習コスト: 「教」は15番と共通、「条」は「条文」「条約」などでも再利用可能。

1. ism / 主义 /

* 選定理由: 接尾辞「-ism」を表す標準的な簡体字が「主义」。日中とも「～主義」の概念を連想しやすい。
* 学習コスト: 非常に頻用される語尾(共産主义・资本主义など)のため覚えやすい。

1. doktrin / 学说 /

* 選定理由: 「学説」「理論」を意味する表現として中国語では「学说」が広く使われる。
* 学習コスト: 「学」は既出、新たに「说」が加わるが、「说明」「演说」など汎用範囲は広い。

1. stenografi / 速记术 /

* 選定理由: 「速记」は「速記(短時間で書き取る)」、そこに「术」(技法)を加え「速記術」を明確化。
* 学習コスト: 「术」は3番(taktik)で既出。「速」「记」は比較的シンプルかつ使用頻度も高い。

1. sintaks / 句法 /

* 選定理由: 「句法」は「文の構造」を扱う「構文論(syntax)」の直訳に近い専門用語。
* 学習コスト: 「句」は文・文章関連で再利用可能、「法」は他の語(语法など)でも活用。

1. gramatik / 语法 /

* 選定理由: 中国語では「语法」が「文法」の標準表現。日本語の「文法」に相当し、直感的に把握しやすい。
* 学習コスト: 「语」は言語関係でよく使い、「法」は22番(sintaks)と共通。

1. retorik / 修辞 /

* 選定理由: 「修辞(学)」は「レトリック」を指す最も直接的な訳。2文字「修辞」で簡潔に示す。
* 学習コスト: 「修」「辞」はどちらも比較的高頻度(「修正」「辞書」など)で二次利用が見込める。

1. ortografi / 正字法 /

* 選定理由: 中国語の「正字法」は「正しい文字の書き方(正書法)」を意味し、orthographyに対応。
* 学習コスト: 「法」は22・23番で既出。「正」「字」は基本語彙で、日中とも意味が取りやすい。

interpunkci

* + 提案: 标点
  + 理由: 中国語で「punctuation」を表す最も一般的な語。「句読(句读)」という古い用例もあるが、現代では「标点」が通用しやすい。
  + 考察: 「标(標)」「点」いずれも他の熟語に転用しやすい漢字。2文字ではあるが、学習優先度の高い常用語。

1. stil
   * 提案: 风格
   * 理由: 「スタイル」「文体」を表す現代中国語の一般的な言い方。
   * 考察: 「风(風)」「格」はどちらも他の単語（例：風格、格言）でも使われるため、重複使用しやすく学習コストを抑えられる。
2. ideografi
   * 提案: 表意
   * 理由: 「表意文字」などの形で使われる語。「意」は「意味」を示す常用字で、「表」は「表現・示す」意。
   * 考察: すでに「表」はほかの単語（字母表など）でも登場可能性があり、偏旁の使い回しとして有用。
3. liter
   * 提案: 字母
   * 理由: アルファベット文字を指す標準的な表現。1文字の「字」では「漢字」を連想させやすいため、「字母」を推奨。
   * 考察: 「字」「母」ともに頻出しやすい漢字であり、学習コストも比較的低い。
4. alfabet
   * 提案: 字母表
   * 理由: 「アルファベット(ABC...のまとまり)」を意味する一般的語。「字母(文字) + 表(一覧)」。
   * 考察: 「字母」「表」はいずれも前後の単語で使っている要素なので、偏旁・漢字数を抑えやすい。
5. aforism
   * 提案: 格言
   * 理由: 「警句」とほぼ同義だが、中国語では「格言」はより定型的・箴言的なニュアンス。
   * 考察: 既出の「格(风格など)」「言」はそれぞれ活用度が高く、今後も転用できる。
6. epigram
   * 提案: 警句
   * 理由: 手短で機知に富んだ文章。「エピグラム」に近いニュアンスで使われる。
   * 考察: 「警」「句」は頻出漢字ではあるが、他でも用いる可能性がある（例：句読）。一度覚えれば応用可能。
7. siluet
   * 提案: 剪影
   * 理由: 「シルエット」を表す一般的な現代中国語表現。「轮廓(輪郭)」は輪郭・アウトライン寄りなので、「剪影」がより影絵的シルエットを表す語。
   * 考察: 「剪」「影」はやや画数が多めだが、シンプルに「シルエット」を示す熟語として定着。
8. spektr
   * 提案: 光谱
   * 理由: 理化学分野で「スペクトル＝光のスペクトル」として最もよく使われる用語。「光(ひかり)＋谱(譜)」。
   * 考察: 「光」は基礎概念で再利用可能。「谱」は後々「楽譜」などにも転用可。
9. helic

* 提案: 螺旋桨
* 理由: 中国語で「プロペラ」を指す標準的呼称。「螺旋(らせん)＋桨(オール/羽根)」でプロペラを示す。
* 考察: 画数はやや多いが、「螺旋」自体は次項(spiral)でも出てくるため、偏旁を共有しやすい。

1. spiral

* 提案: 螺旋
* 理由: 「スパイラル＝螺旋構造」の直接的な単語。
* 考察: 先の「螺旋桨」と漢字を一部共有するため、学習コストを軽減できる。

1. cikl

* 提案: 循环
* 理由: 「サイクル」の意味を示す現代中国語の一般的表現。「周期」との意味的重複もあるが、「循環」の方が「周回する・回転する」ニュアンスに近い。
* 考察: 「循」「环」はともに他で使われる可能性がある（例：環境など）。

1. period

* 提案: 周期
* 理由: 「周期関数」「一定の間隔」を意味するときに最も標準的。「period＝周期」。
* 考察: 画数も比較的少なく、「周」「期」は基礎的な漢字なので再利用の価値あり。

1. procesi

* 提案: 行列
* 理由: 宗教的行列（パレード的なもの）を想起させる表現として。「行進」「游行」でもよいが、「行列」は日本語圏でも「プロセッション」のニュアンスが伝わりやすい。
* 考察: 「行」「列」は前後の単語(例：vic / 列)でも使われ、使い回し可能。

1. vic

* 提案: 列
* 理由: 「列・行列・隊列」などの基本単位。「row, line」の単純な意味を1文字に集約。
* 考察: 単字なので画数が少なく、周辺語でも再利用しやすい。

1. seri

* 提案: 系列
* 理由: 「連続」「シリーズ」を表すときの通用表現。「一系列～」の形で使われることが多い。
* 考察: 既出の「列」を利用し、「系」は後述(系统)などでも使える。

1. spec

* 提案: 种类
* 理由: 「種類」「種族」などの意味合いをまとめるのに広く使われる。「种(種)＋类(類)」。
* 考察: 「类(類)」は後続の「类别(カテゴリ)」でも使うため学習コストを削減。

1. klasifik

* 提案: 分类
* 理由: 「分類する／分類」を直接表す一般語。「分＋类」。
* 考察: 「类」は既出。「分」は非常に高頻度かつ画数も少なめ。

1. klas

* 提案: 班级
* 理由: 学校の「クラス」のイメージに近い。政治的な階級(阶级)など他の語義もあるが、最も一般的な「クラス」の語感は「班级」。
* 考察: 「班」「级」はいずれも教育関係やレベル(级)などで転用可能。

1. kategori

* 提案: 类别
* 理由: 「カテゴリー」「種別」を表す代表的語。「類別」。
* 考察: すでに「类」は何度か使用済みで、漢字の種類を抑えられる。

1. sistem

* 提案: 系统
* 理由: 「システム」を表す標準的な現代語。「体系」も類似だが、ITなど含め広く「系统」が使われる。
* 考察: 「系」は「系列」と共通。繰り返し登場するため、学習が容易。

1. reĝim

* 提案: 政体
* 理由: 「政体」「政治制度」「レジーム」に相当。google翻訳の「政权」はやや「権力」寄りなので「政体」を優先。
* 考察: 「政」「体」ともに常用で、学習コストも比較的低め。

1. ord

* 提案: 顺序
* 理由: 「順序」「シークエンス」を表す基本的な語。「秩序(次序)」なども考えられるが、意味合い的には「順序」が最も近い。
* 考察: 「顺」は「順」「沿う」などで使われる常用偏旁。「序」も文章順序などで汎用性あり。

1. hierarki

* 提案: 等级制度
* 理由: 「階級制度」「ヒエラルキー」を示す標準的な四字熟語。
* 考察: 4文字でやや長いが、「等」「级」は既出（班级など）、「制」「度」も他の語彙で転用可。

1. net

* 提案: 誊清
* 理由: 「清書」「きれいに書き直す」ニュアンスが最も直接的。「誊写」「誊清」は中国語の一般的な言い回し。
* 考察: 「誊」はやや画数が多いが、「清」は常用かつ意味がつかみやすい。2文字熟語としての認知度も高い。

1. manuskript

swift

Copy

manuskript/稿/「原稿」「草稿」を直接イメージしやすい/画数は多めだが「稿」は原稿の意味で日中ともに比較的直感的

1. kajer

swift

Copy

kajer/笔记/「ノート」として理解されやすい/「笔(ペン)」+「记(記録)」はいずれも高頻度漢字で学習効率も比較的良好

1. broŝur

swift

Copy

broŝur/册子/小冊子・仮綴本のイメージに合う/既に「册」を他でも使っており重複利用可。「子」は画数少なめで汎用性も高い

1. arkiv

swift

Copy

arkiv/档案/「アーカイブ」「古文書」に相当する標準表現/「档」「案」ともに公文書・記録のイメージが強く妥当

1. arĥiv

bash

Copy

arĥiv/档案/上と同義(archive)/arkivと同じ割当(同語幹扱い)で学習コストを削減

1. paper

swift

Copy

paper/纸/「紙」を意味する最も一般的な簡体字/画数は7画でまずまず少なく、日中ともに連想しやすい

1. dokument

swift

Copy

dokument/文件/「文書」「ドキュメント」に相当する語として一般的/「文」は4画、「件」は6画で比較的シンプル

1. registr

swift

Copy

registr/登记册/「登録簿」に相当/既出の「记」と「册」を再利用し、新規「登」追加のみ

1. protokol

swift

Copy

protokol/议事录/議事録・会議録の意味に近い標準用語/「议」「事」「录」すべて頻出度が高く、他でも転用可能

1. etat

swift

Copy

etat/明细表/「明細書」を示す代表的な表現/「明」「细」「表」は比較的よく使う組み合わせで汎用性も高い

1. faktur

swift

Copy

faktur/发票/請求書やインボイスに該当する最も一般的な語/「发」「票」はどちらも日常使用が多く学習コストは妥当

1. album

swift

Copy

album/相册/写真アルバム等の「アルバム」として広く使われる/「相」は9画だが常用、「册」は再利用

1. volum

swift

Copy

volum/册/書籍の「巻」に相当/既に「册」を使っているため学習コストを抑えられる

1. libr

swift

Copy

libr/书/「本」を示す最も基本的な簡体字/画数4画で非常にシンプル

1. ekzempler

swift

Copy

ekzempler/本/「(一)冊」「(一)部」のイメージに近い/中国語で書籍の量詞「本」としても通じ、画数5画でシンプル

1. cirkuler

swift

Copy

cirkuler/传单/回覧状・回覧チラシのイメージに近い/「传(伝達)」「单(単)」ともに他の語にも応用しやすい

1. prospekt

swift

Copy

prospekt/宣传册/内容説明書・パンフレット・プロスペクタスに相当/「宣」は新規だが「传」「册」は既出

1. sinoptik

swift

Copy

sinoptik/简表/一覧用・概要用の「簡易表」イメージ/「简」はやや画数多め(13)だが常用、「表」は既出

1. menu

css

Copy

menu/菜单/「メニュー」の標準的表現/「菜」は11画だが使用頻度高、「单」は既出

1. katalog

swift

Copy

katalog/目录/「カタログ」「目録」として最も標準的/「录」はすでに議事録などで使用、「目」のみ新規

1. tabel

swift

Copy

tabel/表/「一覧表」や「テーブル」を示す漢字として直感的/既出(明细表など)のため重複利用で負担軽減

1. list

swift

Copy

list/单/「一覧」「リスト」を指し得る簡易表現/「单」は既出(伝単・菜单など)で画数も比較的少なめ

1. telegram

swift

Copy

telegram/电报/「電報」を表すごく一般的な単語/「电」は5画、「报」は7画で比較的学習しやすい

1. orografi

swift

Copy

orografi/山志/山岳誌(山岳に関する記録書)のイメージ/厳密には専門用語だが「山(3画)」「志(7画)」で簡潔

1. forum

swift

Copy

forum/论坛/「フォーラム」「掲示板」に最も一般的/「论」「坛」ともに常用度が比較的高く、他分野でも登場

revu / 刊 /

* + 選定理由: 「雑誌」「定期刊行物」のニュアンスがある。日本語の「刊行」や中国語の「期刊」などとも関連し、雑誌・出版に結びつけやすい。
  + 学習コスト: 画数は比較的少なく、今後ほかの語根(出版物関連)に転用しやすい。

1. gazet / 报 /
   * 選定理由: 「新聞」「報紙」(报纸)のイメージが強い。日中ともに「報(報道・情報)」のイメージがあり、新聞・ニュースの連想がしやすい。
   * 学習コスト: 既に広く使われる字で画数も少ない。将来的に「報(ほう)」など日本語でも馴染みがある。
2. ĵurnal / 报 /
   * 選定理由: 「新聞」「日報」(日报)の意味。2)gazet と意味が近く、同字割当でも差し支えない(上付き文字などで区別予定)。
   * 学習コスト: 同じ字を使い回すことで総学習負担を減らせる。
3. litani / 连祷 /
   * 選定理由: 連続して祈りの言葉を唱える「連祷(litany)」をそのまま示す熟語。
   * 学習コスト: 単字での表現は難しいため2文字熟語。宗教専門用語だが、「连」「祷」自体は比較的よく見かける部首を含む。
4. rozari / 念珠 /
   * 選定理由: 数珠やロザリオを指し、仏教・キリスト教いずれの祈りの道具としても通じやすい。中国語でも「念珠」は広く通用。
   * 学習コスト: 2文字だが、いずれも比較的頻出の偏旁(心偏や玉偏など)を含む。
5. recitativ / 宣叙调 /
   * 選定理由: 音楽用語「レチタティーヴォ(recitative)」の標準的な中訳は「宣叙调」。
   * 学習コスト: 3文字ながら音楽専門用語としては定着しており、「调」は「曲調」「声调」などで汎用的に使われる。
6. repertuar / 曲目 /
   * 選定理由: 音楽や舞台演目などの「レパートリー」を示す際に「曲目(きょくもく)」が最もシンプル。
   * 学習コスト: 「曲」「目」はどちらも基本的な字で、他分野でも転用しやすい。
7. prelud / 前奏曲 /
   * 選定理由: 音楽用語「前奏曲(prelude)」の常用訳。
   * 学習コスト: 3文字だが、いずれも初歩漢字として学習しやすい。音楽関連語根での使い回しも見込める。
8. simfoni / 交响曲 /
   * 選定理由: 「交響曲(symphony)」の標準的な中国語表現。「交响乐」とも近い。
   * 学習コスト: 音楽用語だが比較的よく使われる表現で、画数も極端には多くない。
9. uvertur / 序曲 /

* 選定理由: 「序曲(overture)」を表す最もシンプルな2字熟語。
* 学習コスト: 「序」は他にも「顺序」「次序」などで用いられ、汎用性が高い。

1. partitur / 总谱 /

* 選定理由: 「総譜(フルスコア)」を意味する標準的な2文字表現。
* 学習コスト: 「总」「谱」はいずれもそれなりに使用頻度があり、理解しやすい。

1. sonet / 十四行诗 /

* 選定理由: 「ソネット(sonnet)」は中国語で「十四行诗」と表現するのが一般的。
* 学習コスト: 4文字とやや長いが、専門の詩形なので仕方ない。字自体は日常レベルで見かけるもの。

1. sponde / 扬扬格 /

* 選定理由: 古典詩律や韻律で「強強格」を指す中国語訳。「扬扬格」がもっとも通用する(「抑扬格」「扬抑格」などと同系列)。
* 学習コスト: 詩の専門用語だが、3文字それぞれが比較的基本的な偏旁を含む。

1. bard / 吟游诗人 /

* 選定理由: バード(吟遊詩人)をそのまま示す常用表現。
* 学習コスト: 4文字だが、比較的一般的な漢字。詩や物語関連で再登場の可能性あり。

1. balad / 民谣 /

* 選定理由: 「バラッド(ballad)」は中国語で「民谣(民謡・フォークソング的な意)」が広く使われる。
* 学習コスト: 2文字とも非常によく使われる部首(氵,讠,女等)ではないが、頻出語ではある。

1. himn / 圣歌 /

* 選定理由: 「賛美歌・聖歌」に該当する2文字熟語。キリスト教文脈で“anthem, hymn”の意によく使われる。
* 学習コスト: 「圣」は日本語「聖」と同系統で意味を類推しやすい。

1. psalm / 圣咏 /

* 選定理由: 「詩篇」(特に聖書の詩編)に近いが、一般的には「圣咏」とも。教会で歌われる詩歌を指す。
* 学習コスト: 宗教専門用語だが、「咏」は「歌咏」「咏诗」など詩歌関連でも使うため再利用可能。

1. kanzon / 歌 /

* 選定理由: カンツォーネ・シャンソンなど歌全般を指す場合、最もシンプルな「歌」を採用。
* 学習コスト: 1文字で汎用性が非常に高い。

1. strof / 节 /

* 選定理由: 「詩の節・ストローフ(strophe)」。単に「节」だけでは他の意味(節日、関節など)もあるが、詩文の区切りとして使われる例も多い。
* 学習コスト: 1文字で画数も少なく、再利用しやすい。

1. proz / 散文 /

* 選定理由: 「散文(prose)」の代表的な中国語表現。
* 学習コスト: 2文字とも日常的に使われやすい。

1. epope / 史诗 /

* 選定理由: 「叙事詩」=「史诗」(歴史的・壮大な詩)。ホメロスなどの大作を指すときも用いられる。
* 学習コスト: 2文字でわかりやすく、歴史・文学分野で頻出。

1. lirik / 抒情诗 /

* 選定理由: 「叙情詩」を意味する定訳。中国語では「抒情诗」が一般的。
* 学習コスト: 3文字ながら比較的なじみのある構成。

1. poet / 诗人 /

* 選定理由: 「詩人(poet)」を示す最も基本的な表現。
* 学習コスト: 2文字とも基本漢字で、理解しやすい。

1. poem / 诗 /

* 選定理由: 「詩(poem)」。1文字で意味が明確。
* 学習コスト: 極めて基本的かつ汎用性が高い。

1. vers / 诗句 /

* 選定理由: 「詩句(詩の一行・詩文の句)」として扱うのが一般的。
* 学習コスト: 2文字でいずれも詩関連に登場しやすい漢字。

poezi / 诗 /

* + 選定理由: 「詩」「詩歌」を表す最も基本的な漢字。中国語でも「诗」は「詩」を指すため、意味の対応が明確。
  + 学習コスト等: 画数は多くなく、日本語でも「詩」の字は一般的。使い回しもしやすい。

1. idili / 牧歌 /
   * 選定理由: 「牧歌」「田園詩」に相当する語として一般的。中国語でも「牧歌」は「田園的な歌(詩)」を連想しやすい。
   * 学習コスト等: 「牧(8画)」「歌(14画)」はいずれも比較的基本的な字で、他の用例（歌曲など）でも学習効果が見込める。
2. elegi / 哀歌 /
   * 選定理由: 「哀歌」は悲しみを表現する「エレジー(挽歌)」に対応する一般的な語。
   * 学習コスト等: 「哀(9画)」「歌(14画)」でやや画数は合計多めだが、いずれも基本語彙。
3. eklog / 牧歌 /
   * 選定理由: 「牧歌」は「田園詩」「田園風詩」を指す語として「idili」と同義的。二つのエスペラント語根が同じ漢字割当になるが、上付き文字等で区別予定。
   * 学習コスト等: すでに「idili」で採用した「牧歌」を再利用。新たな漢字の導入を抑制できる。
4. prozodi / 诗律 /
   * 選定理由: 「詩の韻律・作詩法」を表す語として、「诗律」は古典的にも「詩の規則・リズム」の意味で用いられる。
   * 学習コスト等: 「诗」は既出、「律(9画)」のみ新規だが、法律(法律→“法律”)などでも使われ、汎用性が高い。
5. antologi / 选集 /
   * 選定理由: 「文学選集」＝「选集」は中国語で「アンソロジー」を指す一般的表現。
   * 学習コスト等: 「选(8画)」「集(12画)」。いずれも比較的よく使われる漢字であり、他の「合集」「全集」などでも再利用しやすい。
6. literatur / 文学 /
   * 選定理由: 「文学」の最も直接的な対応。中国語でも「文学(literature)」。
   * 学習コスト等: 「文(4画)」「学(8画)」はいずれも初歩レベルの漢字で汎用性が高い。
7. beletr / 纯文学 /
   * 選定理由: 「美文学」「純文学」に近い概念として、中国語では「纯文学」が一般的用語。
   * 学習コスト等: すでに「文」「学」は使用済み。「纯(7画)」のみ追加。頻出字の一つであり学習負担は大きくない。
8. beletristik / 纯文学研究 /
   * 選定理由: 「美文学研究」を表すには「纯文学研究」が自然。
   * 学習コスト等: 「纯」「文」「学」は既出。「研究(研9画＋究7～9画)」はやや画数多めだが、「研究」という高頻度語でもあるため採用価値は高い。
9. leksikon / 词典 /

* 選定理由: 「用語事典」「語彙集」を指す語として、簡潔に「词典」が適切。
* 学習コスト等: 「词(7～8画)」「典(8画)」。いずれも辞書関連で汎用度が高い。

1. enciklopedi / 百科全书 /

* 選定理由: 「百科事典(百科全书)」は中国語で「encyclopedia」を最も直接的に示す定訳。
* 学習コスト等: 「百(6画)」「科(9画)」「全(6画)」「书(4画)」は日常的な場面でも目にする。やや4文字だが一般的表現。

1. etim/olog## / 词源学家 /

* 選定理由: 「語源学者」→「词源学家」。中国語では「词源」=etymology、「学家」=専門家。
* 学習コスト等: 「词」は既出。「源(13画程度)」「学」「家(10画)」を足すが、いずれも比較的頻出。

1. etimologi## / 词源学 /

* 選定理由: 「語源学」→「词源学」。上記(12)のうち「学家」部分を省き、学問としての「語源学」。
* 学習コスト等: 「词」「源」「学」はすでに導入済み。

1. hieroglif / 象形文字 /

* 選定理由: 「ヒエログリフ」は「象形文字」として知られる。中国語の一般表現。
* 学習コスト等: 「象(11画)」「形(7画)」「文(既出)」「字(6画)」。若干増えるが、いずれも基本漢字。

1. grafologi / 笔迹学 /

* 選定理由: 「筆跡学」→「笔迹学」は中国語で「graphology」に相当。
* 学習コスト等: 「笔(10画)」「迹(9画)」「学(既出)」。手書き関連の語で今後流用可能性はそこまで高くないが、標準的用語。

1. filologi / 文献学 /

* 選定理由: 「文献学」は「philology」の訳として定着。
* 学習コスト等: 「文(既出)」「献(10画)」「学(既出)」。専門用語だが、他の学問用語で「献」も出現する可能性あり。

1. bibliografi / 书目学 /

* 選定理由: 「書誌学」に相当する表現として「书目学」または「目录学」があるが、ここでは「书目学」を採用。
* 学習コスト等: 「书(既出)」「目(5画)」「学(既出)」。比較的シンプル。

1. apolog / 寓言 /

* 選定理由: 「教訓談」「寓話」「寓意のある短い話」に近く、中国語で「寓言」=apologue/fable。
* 学習コスト等: 「寓(11画)」「言(7画)」。新規だが「言」は派生的に広く使える偏旁。

1. logogrif / 字谜 /

* 選定理由: 「語字判じ物」「言葉遊びのなぞ」を意味し、中国語では「字谜」(文字を使ったなぞ)が分かりやすい。
* 学習コスト等: 「字(既出)」「谜(9画前後)」。謎を表す「谜」は初出だが、常用範囲。

1. silogism / 三段论 /

* 選定理由: 「三段論法」は中国語で「三段论」が定訳。
* 学習コスト等: 「三(3画)」「段(9画)」「论(6画)」。いずれも基礎的な字。

1. krestomati / 选集 /

* 選定理由: 「模範詩文集」の意だが、学習用の「選文集」に近いため、既に用いた「选集」を再利用。
* 学習コスト等: 新たな字はなし。既出の「选」「集」で対応可能。

1. korne / 角膜 /

* 選定理由: 「角膜」の医学用語がそのまま標準的。
* 学習コスト等: 「角(7画)」「膜(14画)」。専門用語だが、中国語や日本語でもそのまま通用。

1. retin / 视网膜 /

* 選定理由: 「網膜」は中国語で「视网膜」が一般的。
* 学習コスト等: 「视(7画)」「网(6画)」「膜(既出)」。医学用語だが頻出。

1. membran / 膜 /

* 選定理由: 単に「膜」。生体膜など広く「membrane」を意味する。
* 学習コスト等: 「膜」は既に上記(22)(23)で導入済み。

1. diafragm / 横隔膜 /

* 選定理由: 解剖学で「横隔膜」は標準訳。
* 学習コスト等: 「横(15画)」「隔(9～11画)」「膜(既出)」。3文字だが専門用語として確立。

1. lorn
   * 提案: 单筒望远镜
   * 理由: 小型の携帯用望遠鏡(いわゆるモノキュラー)を表す標準的な言い方。
   * 学習コスト: 「望」「远」「镜」「筒」などは双眼鏡・万花筒など他語根でも再利用予定。
2. teleskop
   * 提案: 望远镜
   * 理由: ごく一般的な“望遠鏡”の中国語表現で、日本語話者も直感的に把握しやすい。
   * 学習コスト: 「望」「远」「镜」は他でも再利用可能。
3. binokl
   * 提案: 双筒望远镜
   * 理由: 中国語で双眼鏡を指す標準的な名称。「双眼鏡」と類義だが、中国語では「双筒望远镜」がより一般的。
   * 学習コスト: 「双」「筒」「望」「远」「镜」は既出・再利用を前提に。
4. kalejdoskop
   * 提案: 万花筒
   * 理由: “万華鏡”に相当する中国語として定着した表現。日本語でも「万花筒」は意味が想像しやすい。
   * 学習コスト: 「万」「花」「筒」は単筒望远镜など他の用例と合わせ、一部部品(筒)を共通化。
5. miop
   * 提案: 近视
   * 理由: 「近視」の簡体字形。「近」は「近い」「视」は「視る」で、日中ともに意味を推測しやすい。
   * 学習コスト: 二文字だが汎用度の高い字。
6. okul
   * 提案: 眼
   * 理由: 「眼睛」の略形としても成立し、中国語では「眼」単体でも“目”を指す場合がある。日本語でも“眼”は十分に通じる。
   * 学習コスト: 一文字で済むうえ、「双眼鏡」などでも出現し得る重要字。
7. pupil
   * 提案: 瞳
   * 理由: 「瞳孔」の略。日本語「瞳」とほぼ同じ形で、両言語とも“ひとみ”を直感しやすい。
   * 学習コスト: 1文字追加だが、意味の対応がわかりやすい。
8. spegul
   * 提案: 镜
   * 理由: 「鏡子」の略で、鏡一般を表す代表字。
   * 学習コスト: 既に望远镜等で使う「镜」を再利用。
9. lens
   * 提案: 透镜
   * 理由: 物理用語として中国語では「透镜」が定番。“透”=透過、“镜”=光学鏡で両言語とも連想しやすい。
   * 学習コスト: 「镜」は既出再利用。「透」1字の追加で済む。
10. radi

* 提案: 放射
* 理由: “放射線”“放射状”などに通じる表現で、“radiate/ray”をイメージしやすい。
* 学習コスト: 「放」「射」2字だが、ともに汎用性が高い。

1. radiator

* 提案: 散热器
* 理由: 機械部品として自動車等のラジエーターを指す標準表現。
* 学習コスト: 「散」「热」「器」はやや画数が多いが、機械関連で汎用性の高い組合せ。

1. semafor

* 提案: 信号机
* 理由: 鉄道や交通の信号を指す幅広い用語。日本語「信号機」と同じ構成でわかりやすい。
* 学習コスト: 「信」「号」「机」は後続の“留声机”等でも「机」を再利用。

1. fonograf

* 提案: 留声机
* 理由: “蓄音機”に近い中国語の一般表現。蝋管式含む初期の音声再生機器にも広く使える。
* 学習コスト: 「留」「声」「机」3字構成。次の「gramofon」にも流用可。

1. gramofon

* 提案: 留声机
* 理由: こちらも“蓄音機”として「留声机」が通じる。区別は上付き文字等で対応。
* 学習コスト: 同じ表記を再利用することで学習負担を低減。

1. kartograf

* 提案: 制图师
* 理由: 地図製作(制图)を職業とする“師”。中国語で“制图师”は“カートグラファ”に相当。
* 学習コスト: 「制」「图」「师」3字。後続の「地图」「制图学」で「图」を再利用。

1. atlas

* 提案: 地图册
* 理由: “地図帳”に相当。中国語では「地图册」や「地图集」が一般的。
* 学習コスト: 「地」「图」「册」3字構成。「图」は既出。

1. skem

* 提案: 图表
* 理由: 図表・チャートを指す一般的な組み合わせ。
* 学習コスト: 「图」は既出。「表」は新出だが汎用度が高い。

1. map

* 提案: 地图
* 理由: 最も基本的な“地図”の中国語。
* 学習コスト: 「地」「图」はすでに出ているので追加負担なし。

1. kartografi

* 提案: 制图学
* 理由: “制図学”“地図学”に相当する中国語。
* 学習コスト: 「制」「图」は既出。「学」は新出だが、後の「天文学」などでも利用。

1. horoskop

* 提案: 占星图
* 理由: 占星術上のホロスコープ(天宮図)を示す簡潔な表現。
* 学習コスト: 「占」「星」「图」。うち「图」は既出。

1. astrologi

* 提案: 占星术
* 理由: “占星術”に相当。中国語でも「占星术」と書く。
* 学習コスト: 「占」「星」は既出。「术」は新出だが常用字。

1. astr

* 提案: 天体
* 理由: “星星”より広く“天体”一般を含むため、「天体」を採用。
* 学習コスト: 「天」「体」は他の天文学関連でも応用可能。

1. astronomi

* 提案: 天文学
* 理由: 日本語と同じ「天文学」で、中国語でも同じ表記。
* 学習コスト: 「天」は既出、「学」も再利用可。「文」が新出だが画数は少なめ。

1. kosmogoni

* 提案: 宇宙论
* 理由: “宇宙起源論”に近く、やや簡略化して「宇宙论」で“コスモゴニー(宇宙の生成・起源論)”を表現。
* 学習コスト: 「宇」「宙」「论」3字。今後「宇宙学家」でも「宇」「宙」を再利用。

1. kosmograf

* 提案: 宇宙学家
* 理由: “宇宙誌学者”に相当し、中国語では「宇宙学家」が近い(=cosmologist的ニュアンス)。
* 学習コスト: 「宇」「宙」「学」は既出、「家」1字を追加。

1. kosmografi / 宇宙志 /
   * 選定理由: 「kosmo（宇宙）」＋「-grafi（～の記述）＝ 志」の組み合わせ。
   * 学習コスト: 「宇」「宙」「志」はやや画数があるが、後続の「地理志」など「～志」と対応を合わせるために採用。
2. geografi / 地理志 /
   * 選定理由: 「geo（地）」＋「-grafi（記述・誌）」で「地理誌」という造語的表現。「地理学」とせず「志」を使うのは「graphy」を統一的に「志」に当てるため。
   * 学習コスト: 「地」「理」「志」は後の単語にも再登場し、使い回しが期待できる。
3. geologi / 地质学 /
   * 選定理由: 「geo（地）」＋「-logi（学問）」で「地质学」は中国語でも「地质学(=地質学)」が一般的。
   * 学習コスト: 「地」「质」「学」は他の語根でも使用見込みが高い。
4. geodezi / 测地学 /
   * 選定理由: 「geo（地）」＋「dezi（測量・測地の意）」＋「学(学問)」。実際の中国語でも「测地学」は「測地学」という分野名として通じる。
   * 学習コスト: 「测」「地」「学」はすでに他語根と共通・再利用可能。
5. topografi / 地形志 /
   * 選定理由: 「topo（場所・地形）」＋「-grafi（記述）」→「地形志」。本来は「地形図」や「地形学」が一般的だが、「-grafi」を「～志」に統一。
   * 学習コスト: 「地」「形」「志」の再利用。
6. geometr / 几何学家 /
   * 選定理由: ここでは「geometr」は「幾何学を専門とする人（幾何学者）」の意なので、「几何(=幾何)＋学家」。
   * 学習コスト: 「几」「何」「学」「家」は基本画数が少なく、他の「～学家（学問の専門家）」にも流用しやすい。
7. geometri / 几何学 /
   * 選定理由: 「geometri（幾何学）」をそのまま「几何学」。これは現代中国語でも標準的。
   * 学習コスト: 上記(6)と同じ「几」「何」「学」を流用。
8. meteor / 气象 /
   * 選定理由: 「meteor」は本来「大気現象」などを指す。漢語で近い概念として「气象（大気・天候現象）」を割り当て。
   * 学習コスト: 「气」「象」は後の「气象学」にも再利用可能。
9. meteorolog / 气象学家 /
   * 選定理由: 「meteorolog（気象学者）」=「气象学」＋「家」。
   * 学習コスト: 「气」「象」「学」「家」は既出。
10. meteorologi / 气象学 /

* 選定理由: 「meteorologi（気象学）」→「气象学」。現代中国語でも「气象学」。
* 学習コスト: 前項(9)と同じ要素で構成。

1. veter / 天气 /

* 選定理由: 「veter（天候・天気）」に「天气」を割り当て。
* 学習コスト: 「天」「气」は中国語でも非常に基本的で、後述「气候」などにも転用。

1. klimat / 气候 /

* 選定理由: 「klimat（気候）」→「气候」は現代中国語の定番。
* 学習コスト: 「气」を再利用し、新出の「候」も比較的常用字。

1. metronom / 节拍器 /

* 選定理由: 中国語で「メトロノーム」は「节拍器」が一般的。「节(節)」「拍」「器」を組み合わせ。
* 学習コスト: 「器」は他の「计时器」など「～器」にも再利用しやすい常用字。

1. kronometr / 计时器 /

* 選定理由: 「chrono（時）」＋「meter（計器）」のニュアンスをまとめて「计时器(計時器)」。
* 学習コスト: 「计」「时」「器」はいずれも常用字で、他の「～计」「～器」にも再利用。

1. manometr / 压力计 /

* 選定理由: 「mano（圧力）」＋「meter（計器）」→「压力计(壓力計)」。
* 学習コスト: 「压」「力」「计」は頻出・再利用可能。

1. dinamometr / 测力计 /

* 選定理由: 「dynamo（力・動力）」＋「meter（計器）」→「测力计(測力計)」。
* 学習コスト: 「测」「力」「计」すべて既出・流用可能。

1. areometr / 比重计 /

* 選定理由: 「areo（比重・濃度測定）」＋「meter（計器）」→「比重计」。
* 学習コスト: 「比」「重」「计」はいずれも常用字で、計量系で再利用可能。

1. higrometr / 湿度计 /

* 選定理由: 「higro（湿度・水気）」＋「meter（計器）」→「湿度计」。
* 学習コスト: 「湿」「度」「计」は多分野の語彙でも出現頻度が高め。

1. pilk / 球 /

* 選定理由: 「pilk」は遊びに使うボールの意。「球」は「ボール」を表す最も一般的な1字。
* 学習コスト: 「球」はのちに「glob」「sfer」とも共有可能で汎用性大。

1. bul / 团 /

* 選定理由: 「bul」は「塊状のかたまり（lump, clod）」を表すため、中国語の「团(=團)」を採用。
* 学習コスト: 「団(团)」は頻出字。やや「球」とのニュアンス差をつけた。

1. glob / 球 /

* 選定理由: 「glob（球体）」→ 同じく「球」。数学的・抽象的な球体意味も含める。
* 学習コスト: 「球」を「pilk」「sfer」と共有することで学習負担を低減。

1. sfer / 球 /

* 選定理由: 「sfer（数学での球体）」→ 同じく「球」に統一。「glob」と同様、上付き文字等で区別可能。
* 学習コスト: 新規漢字不要。すでに「球」を使い回せる。

1. disk / 圆盘 /

* 選定理由: 「disk（円盤）」→「圆盘(=圓盤)」が分かりやすい。
* 学習コスト: 「圆」「盘」は後述「圆柱」や「盘」関連語でも利用可能。

1. cilindr / 圆柱 /

* 選定理由: 「cilindr（円柱）」→「圆柱(=圓柱)」。
* 学習コスト: 「圆」は既出、「柱」の追加のみ。どちらも比較的覚えやすい常用字。

1. rond / 圆 /

* 選定理由: 「rond（円い、丸い）」→ 中国語の「圆(圓)」。
* 学習コスト: 「圆」は既出のため追加負担なし。

1. cirkl / 圆 /  
   選定理由: 意味が「円・丸形」であり、中国語の「圆」は日本語の「円」に対応するため視覚的・意味的に分かりやすい。  
   学習コスト: 1文字であり画数(本来10画)もそこまで多くなく、日中双方で馴染みがある。
2. urn / 瓮 /  
   選定理由: 「瓮」は土器の壺や甕(かめ)を指し、歴史的に遺灰などを納める「urn」に近いイメージ。  
   学習コスト: そこまで頻繁に使われる漢字ではないが、比較的画数(7～9画程度)は多くない。日本語ではやや馴染みが薄いが、類義の「壺」(壶)等と区別したい場合に選定。
3. kuler / 勺 /  
   選定理由: 中国語で「勺」は「さじ」「ひしゃく」を意味する常用字。簡体字でも同形。「匙」(スプーン)より画数が少ない。  
   学習コスト: 画数が非常に少なく(3～4画)、容易。すでに「さじ／スプーン」として直感もしやすい。
4. botel / 瓶 /  
   選定理由: 「瓶」は「bottle」の意で、日中ともに「瓶」で通じる(日本語では「花瓶」の瓶と同じ字形)。  
   学習コスト: 10画程度で、容器を表す常用字。認知度も高め。
5. plet / 盘 /  
   選定理由: 「盘」は「皿」「盤」「トレー」的な意味合いを持ち、「托盘(トレー)」などで使われる。  
   学習コスト: 11画ほどだが、中国語で「盘子」と言えば皿・盛り皿全般を指すため理解されやすい。
6. tas / 杯 /  
   選定理由: 「cup」の意。中国語でも「杯(子)」、日本語でも「コップ」や「杯(さかずき)」のイメージがある。  
   学習コスト: 8画で比較的簡単。
7. bovl / 碗 /  
   選定理由: 「碗」は「どんぶり・ボウル」を表し、日中共に「わん」「碗」として直感的に通じる。  
   学習コスト: 13画だが、器物として高頻度。
8. kuv / 缸 /  
   選定理由: 大きめの容器(=vat, tub, 大桶など)を指す際に「缸」が使われる（浴缸=バスタブ等）。  
   学習コスト: 約9画(書き方にもよる)。日本語圏ではやや馴染み薄だが、中国語では「大きな容器」のイメージで通じる。
9. kaldron / 锅 /  
   選定理由: 「大釜」「大鍋」を指す場合に現代中国語では「大锅」となることが多いが、1文字なら「锅」が最適。  
   学習コスト: 9画程度。すでに調理用「鍋」としても認識されやすい。
10. pelv / 盆 /  
    選定理由: 「盆」は「たらい」「洗面器」「鉢」など広い意味で使われ、pelv(腰骨=骨盤の意)とも関連ある「骨盆」も同字。  
    学習コスト: 9画。中国語・日本語ともに「盆」(simplified 同形)で分かりやすい。
11. pot / 壶 /  
    選定理由: 「pot, jug, jar」などを広く表し得る字。中国語では「茶壶」「水壶」のように日常的に使われる。  
    学習コスト: 簡体字「壶」は10画だが、中国人には非常に馴染み深い。日本語の「壺(壷)」に近い印象。
12. barel / 桶 /  
    選定理由: 「barrel, cask」の意で、中国語は「桶」を用いることが多い(「木桶」など)。  
    学習コスト: 11画程度。バケツ(sitel)も「桶」で表せるので流用可。
13. vaz / 器 /  
    選定理由: 「vessel, container」を広く指す際の一文字として「器」は有力。中国語でも「器皿=容器」の意味。  
    学習コスト: 15画とやや多いが、日中ともに「道具・容器」を意味する常用字で覚えやすい。
14. korb / 筐 /  
    選定理由: 「かご」を指す際、中国語の「筐(筐子)」は竹製のかご・バスケット等に使う。「篮」もあるが画数が多め。  
    学習コスト: 11～12画ほど。若干多めだが、「篮(籃)」よりは少ない。
15. sitel / 桶 /  
    選定理由: 「bucket, pail」は中国語で「桶(子)」。すでにbarelで「桶」を割り当てているが使い回し可。  
    学習コスト: 同じ「桶」を流用することで学習負担を軽減。
16. kalik / 杯 /  
    選定理由: 「chalice, goblet」も「コップ」の一種として広く「杯」で通じる。「聖杯=圣杯」も同じ字。  
    学習コスト: すでにtasで「杯」を使用済み。
17. kruĉ / 壶 /  
    選定理由: 「pitcher, jug」は「壶」で広く対応可。kruĉは取っ手付きの水差しイメージもあるので適合。  
    学習コスト: すでにpotで「壶」を使用済み。
18. karaf / 瓶 /  
    選定理由: 「carafe, decanter」はガラス製の細長い瓶状容器が多く、中国語でも「玻璃瓶」の一種。  
    学習コスト: すでにbotelで「瓶」を使用済み。
19. forn / 炉 /  
    選定理由: 「炉・かまど・オーブン・ストーブ」に相当。中国語では単に「炉」または「火炉」。  
    学習コスト: 8画で比較的シンプル。
20. kamen / 炉 /  
    選定理由: 「暖炉・壁炉(fireplace)」も「炉」系統で表せるため再利用。  
    学習コスト: すでにfornで「炉」を使用済み。
21. kaserol / 锅 /  
    選定理由: 「casserole, stew pan」＝中国語で「炖锅」「煮锅」となるため「锅」を流用。  
    学習コスト: kaldronと同じ「锅」を再利用し学習負担を低減。
22. pat / 锅 /  
    選定理由: 「frying pan」は「平底锅」だが、一文字なら「锅」に統合。  
    学習コスト: 同じく「锅」を再利用。
23. lad / 锡 /  
    選定理由: 「tin plate」は「马口铁」などが正確だが、一文字なら化学元素「锡」(スズ)が簡潔。  
    学習コスト: 10画。純粋に“金属のスズ”を指すが、薄い板(金属)イメージをそこから連想可。
24. lamen / 片 /  
    選定理由: 「薄片、薄板」のニュアンスに最も近い一文字は「片」。日中ともに「切片」「片状」で理解できる。  
    学習コスト: 4画で非常にシンプル。
25. karton / 纸板 /  
    選定理由: 「厚紙・段ボール」は「纸板」が適切。1文字だと「纸」(紙)か「板」(板)のみになり不十分なため2文字熟語を選択。  
    学習コスト: 新たに「纸」「板」を導入するが、それぞれ7画・8画で比較的標準的。今後「紙」「板」関連で再利用が見込める。
26. ekran / 屏 /
    * 選定理由: 「屏」は中国語で「屏幕(screen)」の略的用法、「屏風」など「仕切り・仕屏」の連想から、日本語話者にも「スクリーン」的な意味をある程度想起可能。
    * 学習コスト: 1文字で画数(9画)も比較的少なく、かつ「幕(13画)」よりは省画数。今後「幕」を導入せずに済む可能性があるなら、こちらを優先して学習コストを抑えられる。
27. panel / 板 /
    * 選定理由: 中国語で「面板」などと表されるが、単に「板」に集約して「パネル」(板状のもの)を表す。
    * 学習コスト: 「tabul(板)」にも同じ「板」を充てる予定。1文字使い回しにより学習する漢字の総数を抑えられる。
28. plad / 盘 /
    * 選定理由: 中国語では「盘子(皿)」「大盘(大皿)」などで、エスペラントの “大皿・盛り皿” のニュアンスを比較的よく反映。
    * 学習コスト: 1文字(9画)で、日本語話者にとっては「盤(繁体)」に通じる形。後述の「teler(皿)」等で別の漢字を使い分けし、大小や機能の違いを区別する想定。
29. teler / 皿 /
    * 選定理由: 日本語では「皿」で馴染み深く、中国語では独立した単語としてはやや古めだが、器や皿の部首・語源として十分連想可能。
    * 学習コスト: 5画と少ない。中国語での現代的単語としては「碟」「盘」等が多いが、学習コストを下げるためあえて1文字の「皿」を採用。
30. tabl / 桌 /
    * 選定理由: 中国語で「桌子(テーブル)」。日本語では「卓(音読み)」と近く、テーブルを連想しやすい。
    * 学習コスト: 8画で比較的シンプル。机(6画)との使い分けは細かいが、「桌」は“テーブル”感が強いためこちらを採用。
31. tabul / 板 /
    * 選定理由: 「板」= 板材・板状のもの。上記「panel」と同一漢字で対応し、のちの区別は上付き文字等で行う。
    * 学習コスト: 新たな漢字を追加せず、「panel」と同一字を流用するため学習負担を軽減。
32. klap / 阀 /
    * 選定理由: 中国語では「阀门(弁、バルブ)」。簡体字「阀」は「瓣(弁膜)」より画数が少ない(6画)ため、こちらを優先。
    * 学習コスト: 1文字のみで、かつ比較的画数が少ないので学習負担は抑えられる。
33. kloŝ / 钟罩 /
    * 選定理由: 「钟」(鐘)は日本語話者にも「金偏＋童」で“ベル(鐘)”を連想させる。「罩」は「覆うもの」の意味で、合わせて「鐘型の覆い(bell jar)」を表せる。
    * 学習コスト: 2文字になるが、中国語的にも定番表現(「钟罩」)でわかりやすい。単に「罩」だけでは「カバー・覆い」全般になり曖昧なため2文字とした。
34. ĉel / 细胞 /
    * 選定理由: 中国語で「細胞」、日本語でも「細胞」として通じる。
    * 学習コスト: 2文字(「细」8画+「胞」8画=16画)とやや多めだが、生物学的概念として一般的であり、まとまった熟語として認識されやすい。
35. vezik / 泡 /

* 選定理由: 「泡」は中国語で“泡・水泡”の意、日本語話者も「泡(あわ)」で馴染みがある。「膀胱」の意味合いは専門用語になるが、まずは「泡」のイメージを優先。
* 学習コスト: 8画。すでにほかで使う「泡」と組み合わせ(例:「灯泡」)もでき、汎用性がある。

1. ampol / 灯泡 /

* 選定理由: アンプルや電球を指す語根だが、中国語圏では「灯泡」が最も一般的(電灯の泡＝“バルブ”)。日本語でも「電球」を連想しやすい。
* 学習コスト: 「灯」(6画) + 「泡」(8画)。既に「泡」を使っているので、新出は「灯」のみ。

1. kapsul / 胶囊 /

* 選定理由: 中国語で「カプセル」は「胶囊」が定番。日本語でも医薬品カプセルのイメージが伝わる。
* 学習コスト: 「胶」(10画) + 「囊」(10画) = 計20画と比較的多いが、医学・薬学分野では一般的表現なので採用。

1. trog / 槽 /

* 選定理由: 中国語で“槽”は“飼い葉桶・水槽・餌槽”など長い“おけ”状のもの全般を指せる。日本語でも「水槽」「苦情をいう『愚痴のこぼし槽』(ネットスラング)」などで目にする字。
* 学習コスト: 15画だが、1文字で表現できる利点を優先。

1. palanken / 轿子 /

* 選定理由: 中国語では「轿子」は昔の“カゴの乗り物”を指す定番。日本語話者も「車へん＋喬」で「かごの乗物」のイメージをある程度推測可。
* 学習コスト: 「轿」(8画) + 「子」(3画)=11画。2文字だが比較的コンパクト。

1. valiz / 箱 /

* 選定理由: スーツケース、旅行かばんは「手提箱」「行李箱」などと呼ぶが、単に「箱」として充てて、後で必要なら上付き文字で区別。
* 学習コスト: 15画だが「kest(箱)」「kofr(トランク)」と同じ字を使い回すことで、総漢字数を最小化。

1. tornistr / 背包 /

* 選定理由: 中国語で「背包」は“リュック、背負いかばん”の最も基本的な表現。
* 学習コスト: 「背」(9画) + 「包」(5画)=14画。2文字ではあるが、どちらも汎用性が高く再利用の可能性あり。

1. kofr / 箱 /

* 選定理由: “トランク”としての大箱にも「箱」を再利用。
* 学習コスト: 新出漢字なし(すでに「valiz」「kest」での提案と同じ「箱」を使い回す)。

1. katakomb / 墓 /

* 選定理由: 本来は「地下墓穴(地下の墳墓)」だが、省略して「墓」に集約。中国語でも「墓」だけで“埋葬地”の概念は十分想起可能。
* 学習コスト: 13画。専門語なので2文字以上(「墓穴」「地下墓穴」等)にすると煩雑になるため、1文字に簡略化。

1. katafalk / 棺台 /

* 選定理由: “棺を安置する台”として直訳気味に「棺台」。
* 学習コスト: 「棺」(12画) + 「台」(5画)=17画。やや多いが、専門語ゆえ2文字熟語でわかりやすさを重視。

1. sarkofag / 石棺 /

* 選定理由: “石の棺”を文字通り「石棺」。中国語でも「石棺」は通じる。
* 学習コスト: 「石」(5画) + 「棺」(12画)=17画。上記「katafalk」で出た「棺」を再利用できる点はメリット。

1. uj / 器 /

* 選定理由: エスペラントで「容器」を示す接尾辞。簡体字で単に「器」とすれば、“道具・入れ物”全般を表しやすい。
* 学習コスト: 15画とやや多いが、1文字で「入れ物」全般を連想しやすく汎用性がある。

1. kest / 箱 /

* 選定理由: “箱”としてすでに提案済みの「箱」を使い回す。
* 学習コスト: 追加学習不要。

1. skatol / 盒 /

* 選定理由: 小箱・小型の手箱をイメージ。中国語では「盒(子)」、日本語でも「箱」「小箱」相当と認識しやすい。
* 学習コスト: 11画。すでに「箱(15画)」とは区別して、小型をイメージしやすいよう漢字を分けた。

1. hangar / 机库 /

* 選定理由: 中国語で「机库」は飛行機格納庫。日本語でも「機庫」とほぼ同形で、航空機関連施設とわかる。
* 学習コスト: 「机」(6画) + 「库」(7画)=13画。2文字だが一般的な熟語で理解しやすい。

1. kupe / 隔间 /

* 選定理由: 列車などの区画客室を表すなら、中国語では「隔间」が自然。
* 学習コスト: 「隔」(9画) + 「间」(4画)=13画。2文字熟語だが、“仕切られた部屋”のイメージが直感的に伝わる。

1. muzik
   * 提案: 音乐
   * 理由: 中国語で「音楽」を意味する最も一般的な表現(簡体字)。日本語「音楽」と文字が近く、日本人にも比較的分かりやすい。
   * 学習コスト: 「音」(sound)と「乐」(music/happy)の2文字。どちらも使用頻度が高く、多方面で転用可能。
2. konservatori
   * 提案: 音乐学院
   * 理由: 中国語で「音楽院(コンセルヴァトワール)」を指す標準的な表現。日本語「音楽学院」とほぼ同形で、双方に意味が伝わりやすい。
   * 学習コスト: すでに「音乐」で2文字を使っているため、新出は「学」「院」の2文字のみ。いずれも頻出・汎用性高。
3. kantor
   * 提案: 领唱
   * 理由: 「領(率いる)＋唱(歌う)」で「先導して歌う人」、すなわちカントール(聖歌隊の先唱者)を表すのに適している。
   * 学習コスト: 「领」はやや画数が多い(7画)が、中国語で「リーダー」「率いる」を意味し汎用性も高い。「唱」は後述の“歌唱”関連で再利用しやすい。
4. korife
   * 提案: 合唱队长
   * 理由: 「合唱隊長」の意味をそのまま中国語で表現。「合唱(chorus)＋队(チーム)＋长(リーダー)」。
   * 学習コスト: 「合」「唱」は他の合唱関連語根で流用。「队」「长」も日常語彙で頻出。
5. koncert
   * 提案: 音乐会
   * 理由: 中国語で「コンサート」を指す最も一般的な単語(音楽＋会の組合せ)。日本語の「音楽会」に相当。
   * 学習コスト: 「音」「乐」は既出。「会」は日常的に使う常用字なので学習価値も高い。
6. bal
   * 提案: 舞会
   * 理由: 中国語で「舞踏会」「ダンスパーティ」を意味する簡潔な表現(舞＋会)。
   * 学習コスト: 「舞」は後述の「ダンス」(danc)とも関連。「会」は既出。
7. ĥor
   * 提案: 合唱
   * 理由: 中国語で「合唱」を最も直接的に示す言い方。
   * 学習コスト: 「合」「唱」は比較的シンプルかつ汎用性も高い(すでに「kantor」などでも使用見込み)。
8. korus
   * 提案: 合唱团
   * 理由: 「chorus(合唱団)」を意味する標準的な表現。「合唱＋団(グループ)」。
   * 学習コスト: 「合」「唱」は既出。「团」(団)は中国語で集団や団体を示すのに頻用されるため、汎用性は高い。
9. kant
   * 提案: 唱
   * 理由: 中国語で「歌う」動作を表す簡潔な単字。
   * 学習コスト: 既に他の語でも登場しており再利用がしやすい。
10. danc

* 提案: 舞
* 理由: 単字で「踊り／舞」を表す代表的な漢字。動詞としては「跳舞」とも書けるが、簡素化のため1文字を提案。
* 学習コスト: 画数はやや多め(計14画)だが、日本語の「舞」と同形。関連語根への転用も考えられる。

1. aks

* 提案: 轴
* 理由: 中国語で「軸」「アクス(軸)」を意味する簡体字。
* 学習コスト: 9画ほどで比較的シンプル。日本語「軸」の簡体字なので類推もしやすい。

1. kern

* 提案: 核
* 理由: 「核心」「核(種)」「核(核兵器)」など、多義的に「中心・核心」の意味を持つ代表的な漢字。
* 学習コスト: 8画と比較的少なく、日中双方がイメージしやすい。

1. atom

* 提案: 原子
* 理由: 中国語・日本語ともに「アトム＝原子」の定訳。1文字での代用は困難なため2文字熟語とした。
* 学習コスト: 「原」「子」はともに頻度が高く、学習コストに見合う汎用性がある。

1. molekul

* 提案: 分子
* 理由: 中国語・日本語ともに「分子」は化学用語として最も一般的。
* 学習コスト: 「分」「子」はどちらも極めて高頻度の漢字で再利用しやすい。

1. polus

* 提案: 极
* 理由: 中国語の「極(きょく)」に当たる簡体字。地理・物理上の「極(地極・磁極など)」を表す。
* 学習コスト: 5画という少ない画数で、日本人にも「極(ゴク/キョク)」として馴染みやすい。

1. magnet

* 提案: 磁铁
* 理由: 簡体字で「磁石」を意味する一般的な語。単字「磁」は“磁性”全般を指しやすく、ここでは2文字熟語で正確に「磁石」を示す。
* 学習コスト: 「铁」(金属)は使用範囲が広い(鉄分、工具など)。画数はやや多めだが汎用的。

1. bas

* 提案: 低音
* 理由: 「低い音＝bass」の意味を端的に表す。
* 学習コスト: 「低」は常用字、「音」は既出(“音乐”)のため比較的学習コストは低い。

1. kontrabas

* 提案: 低音提琴
* 理由: 中国語でコントラバス(弦楽器の一種)を指す一般的表現。「低音＋提琴(弦楽器)」。
* 学習コスト: 既出の「低」「音」に加え「提」「琴」は弦楽器関連のほかの単語でも転用しやすい可能性がある。

1. bariton

* 提案: 男中音
* 理由: 中国語で「バリトン」を指す簡潔な呼称。男声の中間音域を示す。
* 学習コスト: 「男」「中」「音」すべて常用字で汎用範囲が広い。

1. balet

* 提案: 芭蕾
* 理由: 中国語で「バレエ」の意味を表す最もシンプルな2文字表現。
* 学習コスト: 「芭」「蕾」ともに画数はやや多いが、他の割当候補(芭蕾舞)よりは短縮。外来語として定着しているため、中国語話者には理解されやすい。

1. balast

* 提案: 压载物
* 理由: 中国語で「バラスト」を指す標準的表現。直訳すると「荷重を加えて船の安定を図る物」。
* 学習コスト: 「压」「载」「物」はいずれも比較的よく使われる(押す、載せる、物体など)。やや3文字と長いが汎用性は高い。

1. pil

* 提案: 电池
* 理由: 中国語で「電池」「バッテリーセル」を指す。
* 学習コスト: 「电」(電気)は今後も電力関連で多用される可能性あり。「池」も日常語(池、バッテリーなど)で汎用性がある。

1. bateri

* 提案: 电池
* 理由: 一般的に「バッテリー」としては同じ「电池」で通じる場合が多い。
* 学習コスト: 上記「pil」と同じく「电池」を転用し、学習コストを削減。

1. balon

* 提案: 气球 (※簡体字: 气→气)
* 理由: 中国語では「气球」が気球・風船の総称として使われる。日本語の「気球」と同じ字面に近く、連想しやすい。
* 学習コスト: 「气」は簡体字で画数が少なく、非常に汎用度が高い。「球」も「ボール」「球体」全般に応用可能。

1. bomb

* 提案: 炸弹
* 理由: 中国語の標準的な「爆弾」を表す言い方。単字での対応はなく、2字熟語が一般的。
* 学習コスト: 「炸」(爆裂)、「弹」(弾丸・弾く)ともに軍事・衝突関連などで再登場しうる語彙。

1. petard
   * 提案漢字: 爆竹
   * 選定理由: 日中ともに「火薬を使った小型の爆発物」として通じる表現。日本語の「爆竹」とほぼ一致。
   * 学習コスト: 「爆」「竹」はともに比較的よく使われる漢字であり、他語根にも転用可能。
2. step
   * 提案漢字: 草原
   * 選定理由: 中国語の「草原」は英語の steppe・日本語の「大草原」に相当し、イメージしやすい。
   * 学習コスト: 「草」「原」は常用・高頻度。画数も多すぎず、今後も再利用しやすい。
3. promontor
   * 提案漢字: 海角
   * 選定理由: 中国語で「海に突き出た岬・みさき」を指す一般的表現。日本語話者も「海＋角」でおおよその意味を推測しやすい。
   * 学習コスト: 「海」「角」はいずれも常用漢字で、画数や使用頻度も過度に高くない。
4. alte
   * 提案漢字: 葵
   * 選定理由: タチアオイ(蜀葵)の「葵」一字で大枠を表現。日中とも「葵」はアオイ科の植物を連想しやすい。
   * 学習コスト: やや画数は多め(12画)だが、他の“アオイ属”にも通じるため汎用性はある程度期待できる。
5. lian
   * 提案漢字: 蔓
   * 選定理由: 熱帯産を含む「つる植物」のイメージに合致。中国語でも「蔓」＝つる状の茎を指す。
   * 学習コスト: 14画でやや多めだが、「藤」(18画)よりは簡潔。日本語「蔓延」の「蔓」と同一。
6. avenu
   * 提案漢字: 林荫道
   * 選定理由: 中国語で「木陰の道」「並木道」のニュアンスをもつ表現。英語の avenue に相当。
   * 学習コスト: 三文字だが「林」「荫」「道」はいずれも常用。既出の「道」と併用可能。
7. bulvard
   * 提案漢字: 林荫大道
   * 選定理由: 中国語で「（並木のある）大通り」を示す最も典型的な訳語。英語の boulevard にほぼ対応。
   * 学習コスト: 「林荫」は既出。「大」「道」も常用かつ既出の要素を含むので、学習コストの重複は抑えられる。
8. ale
   * 提案漢字: 小径
   * 選定理由: 「（庭園・公園などの）小道」「小さな通路」を意味し、日本語「小径」と同義で想像しやすい。
   * 学習コスト: 「小」は基本字。「径」は画数8画だが「直径」の径として日本人にも馴染みがある。
9. strat
   * 提案漢字: 街
   * 選定理由: 街路（street）の核心をなすイメージとして、中国語・日本語とも「街」は単独でも「道・通り」を連想できる。
   * 学習コスト: 単字で12画だが、市街・街道などの派生語でも使われる汎用性が高い。
10. trotuar

* 提案漢字: 人行道
* 選定理由: 中国語で「歩道」「歩行者用道路」を指す最も一般的な表現。日本語話者にも字面で意味がとりやすい。
* 学習コスト: 三文字だが「人」「行」「道」はいずれも頻出。既出の「道」も再利用。

1. voj

* 提案漢字: 道
* 選定理由: エスペラントの「voj」は「道・方法」の意味。中国語「道」は抽象的に「道」「路」を表し、日本語でも同義。
* 学習コスト: 既に何度も出てきた「道」の再利用で、覚える文字数を抑えられる。

1. ŝose

* 提案漢字: 公路
* 選定理由: 中国語で「高速道路」「幹線道路」を含めた広義の「車道」を指す場合、「公路」は自然。
* 学習コスト: 「公」は4画でシンプル、「路」は13画だが「道路」「路線」など汎用性が高い。

1. ekvator

* 提案漢字: 赤道
* 選定理由: 日中とも「地球の中心を東西に走る線」の意味で同じ漢字を使用。
* 学習コスト: 「赤」「道」はいずれも既出・常用の要素。

1. tropik

* 提案漢字: 回归线
* 選定理由: 「回帰線（北回帰線・南回帰線）」の中国語は「回归线」で統一。
* 学習コスト: 「回」「归」「线」は比較的よく使われる字（回収・归国・线路など）で転用可能。

1. orbit

* 提案漢字: 轨道
* 選定理由: 天文学的な「軌道」を表す標準的な中国語。日本語話者も「軌道」の類推が容易。
* 学習コスト: 「轨」は6画で比較的簡単、「道」は再利用可。

1. zodiak

* 提案漢字: 黄道带
* 選定理由: 中国語で「黄道帯」を指す最も簡潔な表現。英語の zodiac belt に相当。
* 学習コスト: 「黄」「道」「带」はいずれも中級程度の常用字。既出の「道」を再利用。

1. meridian

* 提案漢字: 子午线
* 選定理由: 地理・天文でいう「子午線」を表す標準的な中国語表記。
* 学習コスト: 三文字であるが、画数は合計それほど多くなく、かつ「线」は既出。

1. orient##

* 提案漢字: 未対応
* 選定理由: 末尾##が付された「語根ではない」項目のため、割当を行わず「未対応」とする。
* 学習コスト: （同上の理由により検討対象外）

1. orient

* 提案漢字: 东
* 選定理由: 中国語簡体字で「東」を表す標準字。日本語の「東」と対応し、意味が取りやすい。
* 学習コスト: 単字5画でシンプル。既出の「道」などと合わせ「東西南北」一括学習も可能。

1. okcident

* 提案漢字: 西
* 選定理由: 中国語・日本語いずれも「西」の字形・意味は同一。
* 学習コスト: 6画と少なめ。東西南北の一角として統一的に覚えられる。

1. sud

* 提案漢字: 南
* 選定理由: 中国語・日本語とも同じ字形。方角表現として定番。
* 学習コスト: 9画。東西南北のセット学習で負担はさほど大きくない。

1. nord

* 提案漢字: 北
* 選定理由: 中国語・日本語共通で「北」。
* 学習コスト: 5画と少なめ。東西南北の一括で覚えやすい。

1. mediterane

* 提案漢字: 地中海
* 選定理由: 日中ともに同形同義。地中海(Mediterranean Sea)を直接指す標準表記。
* 学習コスト: 3字だが「地」「中」「海」は基礎語彙。地理用語として他にも転用可。

1. pacifik

* 提案漢字: 太平洋
* 選定理由: 「太平洋」の日中表記が一致。英語“Pacific”との対応も分かりやすい。
* 学習コスト: 全体画数は多くない。海洋名としては代表的。

1. atlantik

* 提案漢字: 大西洋
* 選定理由: 「大西洋」は日中で共通表現。
* 学習コスト: 3字構成だが「大」「西」「洋」はそれぞれ高頻度・既出に近い要素。